

うきは市地域公共交通に関する 市民ニーズ調査 報告書



令和6年3月
福岡県 うきは市

〈 目 次 〉

序 章	はじめに	
	背景と目的 -----	1
第1章	うきは市の概況	
1	地域概況 -----	2
2	上位・関連計画の整理 -----	9
3	公共交通の現状 -----	10
第2章	市民へのアンケート調査	
1	調査概要 -----	13
2	調査結果 -----	14
第3章	調査結果に基づくポイントおよび想定される課題	
1	調査結果のポイント整理 -----	38
2	想定される公共交通の課題 -----	49
第4章	公共交通計画の策定提案	
1	想定される公共交通計画の取組みの方向性検討 -----	50
2	公共交通計画の推進による将来像の実現 -----	51

背景と目的

うきは市（以下、本市という。）では、少子高齢化や人口減少の進行、移動手段に関する国民の選考の変化など、社会情勢の変化に伴い公共交通の利用者は減少傾向にある。加えて、公共交通を担う運転手不足も深刻化しており、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況である。さらに、高齢運転者による交通事故の社会問題化に伴い運転免許証の自主返納が進むことで、自家用自動車を運転できない高齢者等の移動手段としての公共交通の重要性が増大し、公共交通の確保・維持が今後さらに深刻な問題となることが予想される。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響からの復調による観光客の移動手段の確保や、地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対応など、地域における公共交通の確保・維持は交通分野の課題解決にとどまらず、観光振興、環境、商業、健康・医療、福祉・介護、教育、まちづくり等の様々な分野で大きな効果をもたらすことが期待されている。

本業務ではこのような状況を踏まえ、本市における持続可能な公共交通サービスを実現すること（公共交通の確保・維持）を目的とし、地域の特性や公共交通の利用実態、市民の生活行動・ニーズ等を把握するとともに、上位計画や関連計画を踏まえ、本市の地域公共交通の在り方や（将来像）や施策の方向性を検討する。



1 地域概況

(1) 地理・自然

本市は福岡県の南東部に位置し、周囲を朝倉市、久留米市、八女市、そして大分県の日田市に囲まれている。南部にそびえる耳納連山からは巨瀬川や隈上川が流れており、筑後川に合流している。市内は平坦部、山麓部、山間部に分かれ、それぞれ異なる景観が広がっている。耕地、宅地、森林などの自然豊かな地域が73%を占め、温暖で雨が多い太平洋側気候に属している。また、江戸時代には大石用水や袋野用水が開削され、農業や製麺などの産業が発展した。現在は高速道路の整備により、観光やビジネスの分野で経済効果が期待されている。

(2) 気候

本市は太平洋側気候区に属しており、穏やかで温暖な気候が特徴である。年間を通して降水量が多く、付近の朝倉観測所においては年間降水量が2,178mm、年間平均気温は16.9℃（ともに2023年）となっている。冬季の最低気温は0℃を下回ることも多く、積雪もみられるが、春から秋にかけては温暖で過ごしやすく、特に春は巨瀬川沿いなどが桜の名所として知られ、多くの観光客が訪れている。これらの気候条件は、農業や観光など様々な産業に影響を与えており、本市の魅力の一つとなっている。

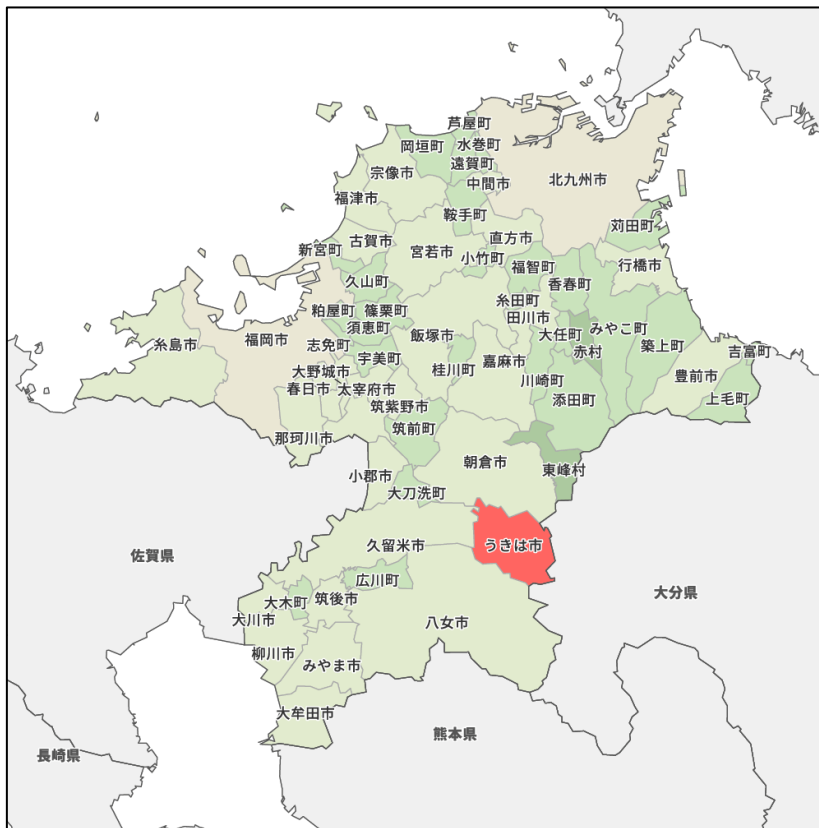
(3) 交通

本市は国道210号線が東西に横断しており、地域の生活道路として、また東西九州の産業や経済、観光を支える重要な幹線道路として機能している。県道八女香春線の合瀬耳納トンネルや国道322号の八丁トンネルの開通により、県南地域や北九州地域へのアクセスも向上している。今後も、中津日田道路の整備などによる各方面へのさらなるアクセス向上が期待される。

幹線を担う公共交通として、JR久大本線が東西に通っており、市内には「筑後吉井駅」、「うきは駅」、「筑後大石駅」の3つの駅がある。また、西鉄バス久留米（株）によって、本市と久留米市を結ぶ路線（久留米～吉井線）、及び本市と朝倉市、大分県日田市を結ぶ路線（神杉野線）の2路線が運行されている。

地域の支線を担う公共交通として、うきはバス及びうきは市予約制乗合タクシーが運行しており、市内での重要な移動手段となっている。

図表 福岡県うきは市

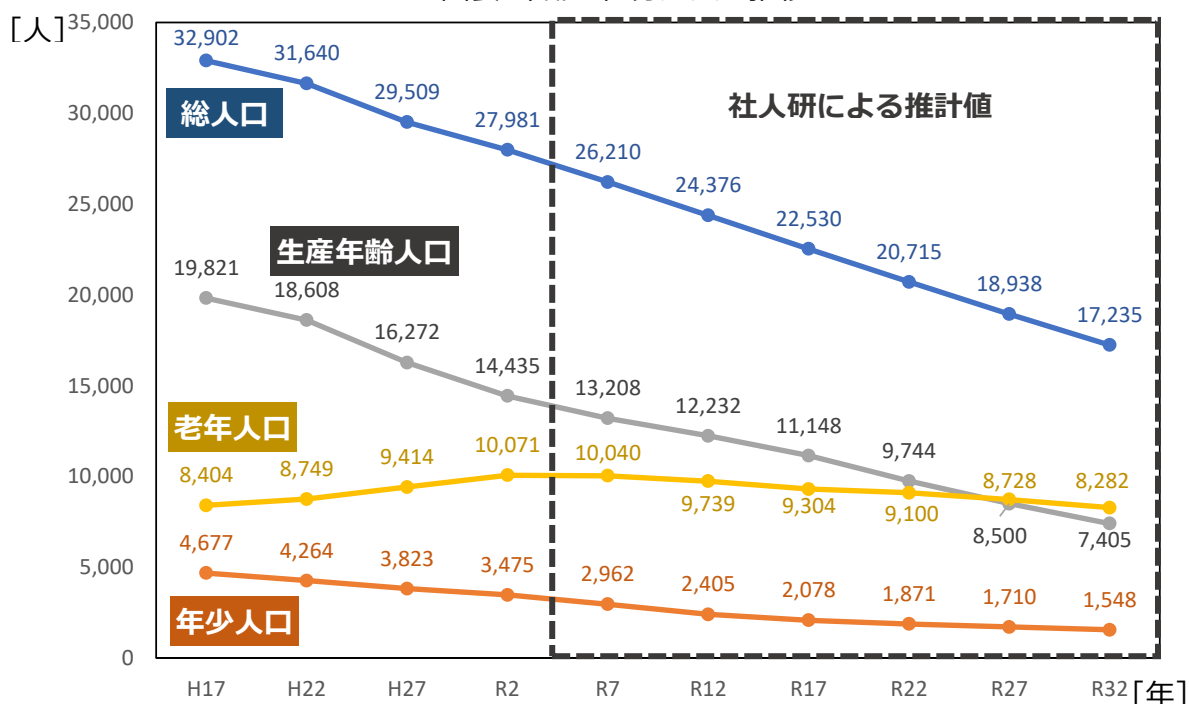


(4) 人口動態

本市の総人口は減少傾向にあり、平成17年(32,902人)から令和2年(27,981人)の15年間で15.0%減少している。国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の推計では今後も減少するとされており、令和32年には17,235人まで減少すると見込まれている。

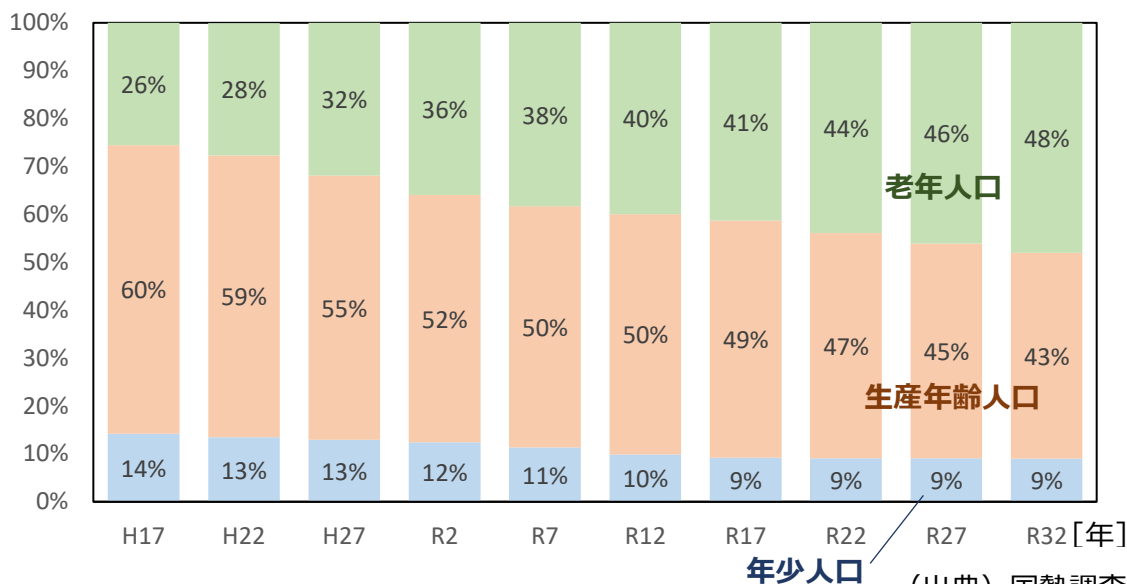
また、65歳以上の老年人口の割合は増加を続けており、令和12年には総人口の40%が65歳以上になると見込まれている。

図表 年齢3区分別人口推移



(出典) 国勢調査

図表 年齢3区分別人口割合推移



(出典) 国勢調査

昭和60年から令和2年までの人口増減を地区別にみると、旧浮羽町が32.4%減少、旧吉井町が15.2%減少となっており、特に旧浮羽町において人口減少が顕著である。昭和60年では旧浮羽町の人口が18,925人、旧吉井町の人口が17,920人と、旧浮羽町の方が人口が多くなっているものの、平成12年では旧浮羽町の人口が16,836人、旧吉井町の人口が17,209人となっており、以降、旧吉井町の方が人口が多い状況が続いている。

図表 地区別の人口と増減率推移

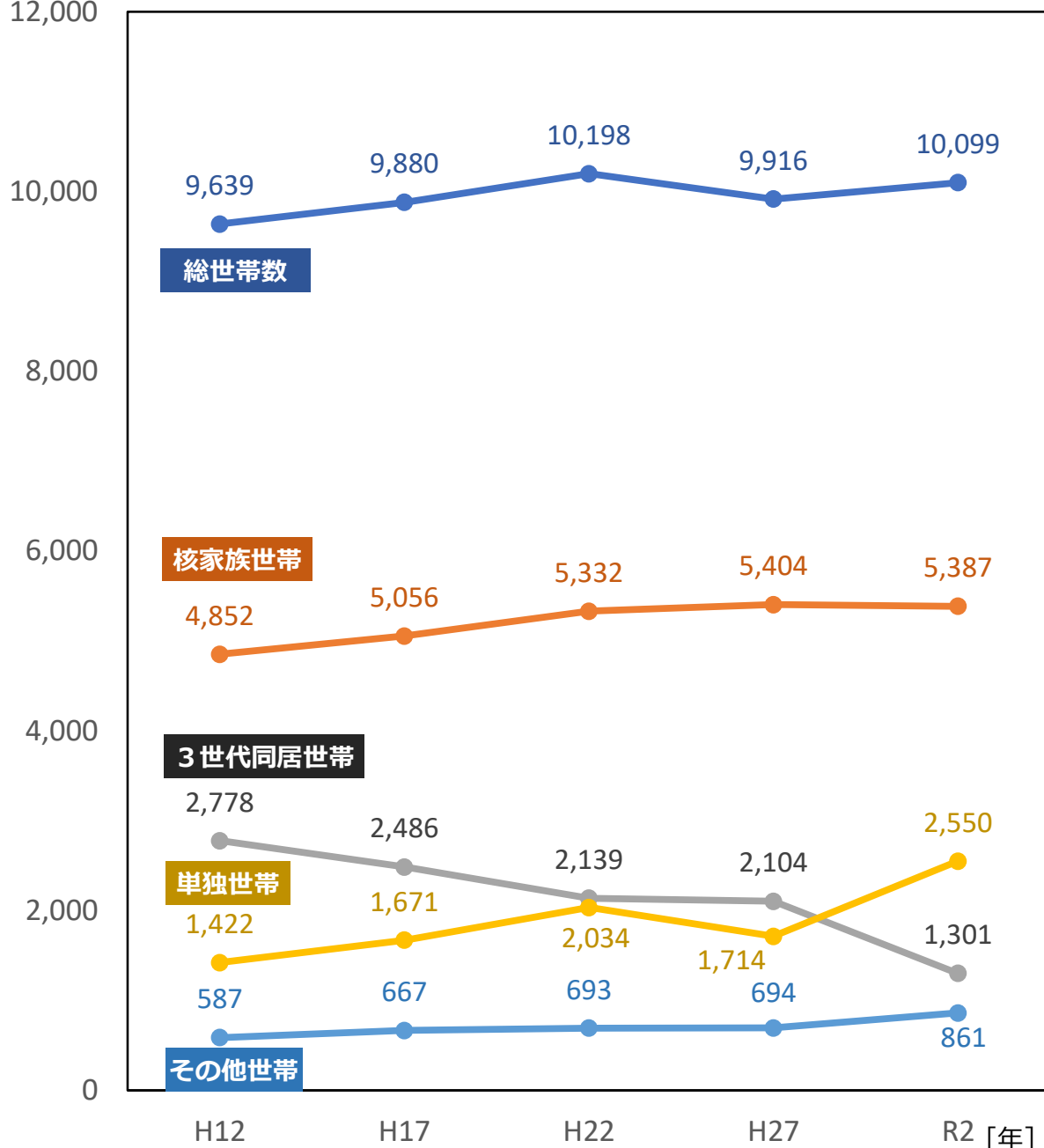
区分	うきは市			福岡県	全国	
	旧浮羽町	旧吉井町				
人口	S60	36,845	18,925	17,920	4,719,259	121,048,923
	H2	35,910	18,342	17,568	4,811,050	123,611,167
	H7	35,179	17,634	17,545	4,933,393	125,570,246
	H12	34,045	16,836	17,209	5,015,699	126,925,843
	H17	32,902	15,907	16,995	5,049,908	127,767,994
	H22	31,640	14,889	16,751	5,071,968	128,057,352
	H27	29,509	13,848	15,661	5,045,624	127,094,745
	R2	27,981	12,784	15,197	5,135,214	126,146,099
増減率	S60-H2	▲ 2.5	▲ 3.1	▲ 2.0	1.9	2.1
	H2-H7	▲ 2.0	▲ 3.9	▲ 0.1	2.5	1.6
	H7-H12	▲ 3.2	▲ 4.5	▲ 1.9	1.7	1.1
	H12-H17	▲ 3.4	▲ 5.5	▲ 1.2	0.7	0.7
	H17-H22	▲ 3.8	▲ 6.4	▲ 1.4	0.4	0.2
	H22-H27	▲ 6.7	▲ 7.0	▲ 6.5	▲ 0.5	▲ 0.8
	H27-R2	▲ 5.2	▲ 7.7	▲ 3.0	1.8	▲ 0.7
	S60-R2	▲ 24.1	▲ 32.4	▲ 15.2	8.8	4.2

(出典) 国勢調査

本市の総世帯数の推移をみると、総世帯数はやや増加傾向にある。家族類型別の世帯数の推移をみると、3世代同居世帯が平成27年（2,104世帯）から令和2年（1,301世帯）で大きく減少する一方で、単独世帯は同じ期間で1,714世帯から2,550世帯に増加している。要因の1つとして、高齢夫婦の世帯で、配偶者と死別後に子どもと同居しないケースが増加し、1人暮らしの高齢者が増加していることが想定される。

[世帯]
12,000

図表 家族類型別世帯数推移

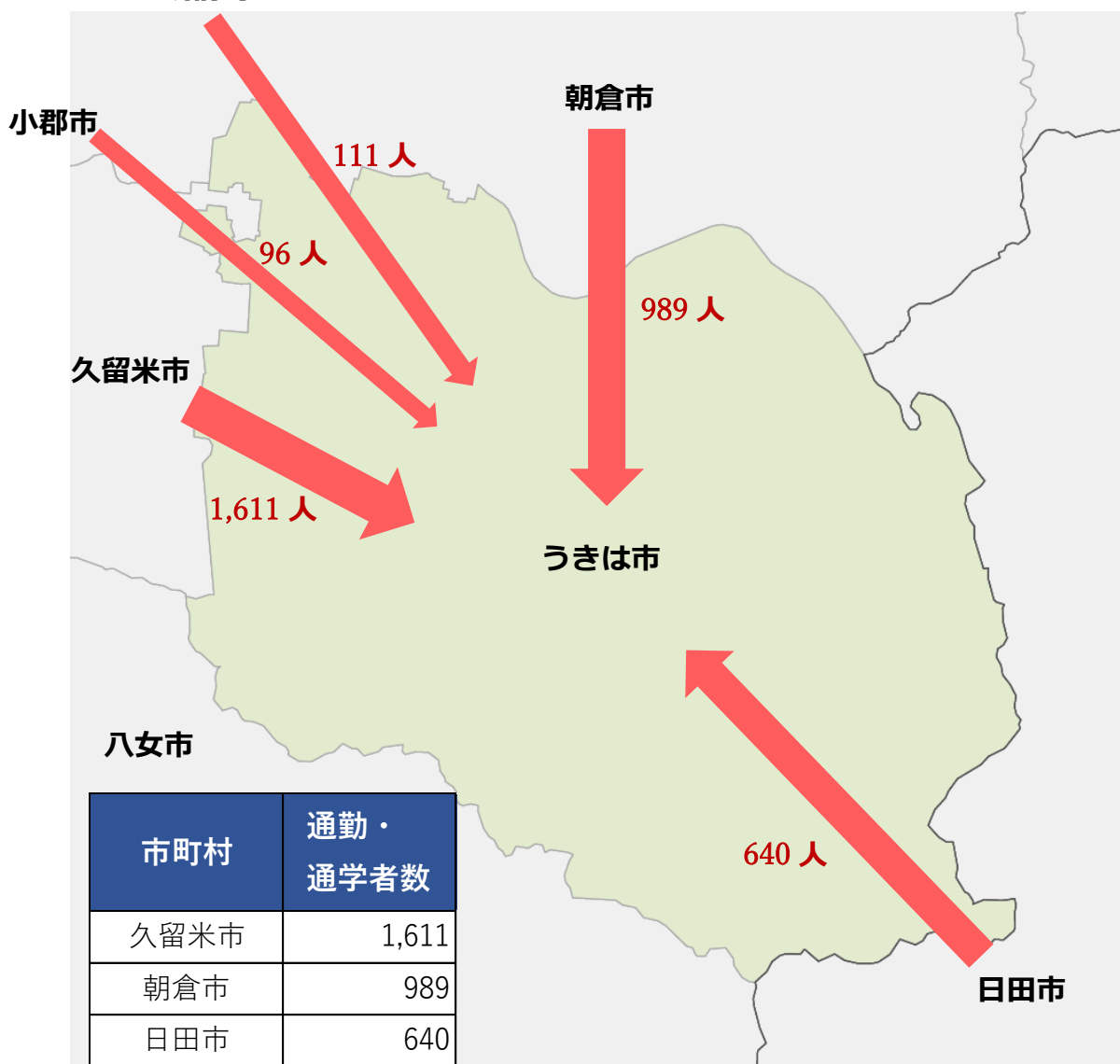


(出典) 国勢調査

2020年における他の自治体から本市への通勤・通学者の状況を見ると、久留米市からの通勤・通学者が1,611人と最も多くなっており、次いで朝倉市が989人、日田市が640人、筑前町が111人と多くなっている。

筑前町

図表 うきは市への通勤・通学者数（2020年）

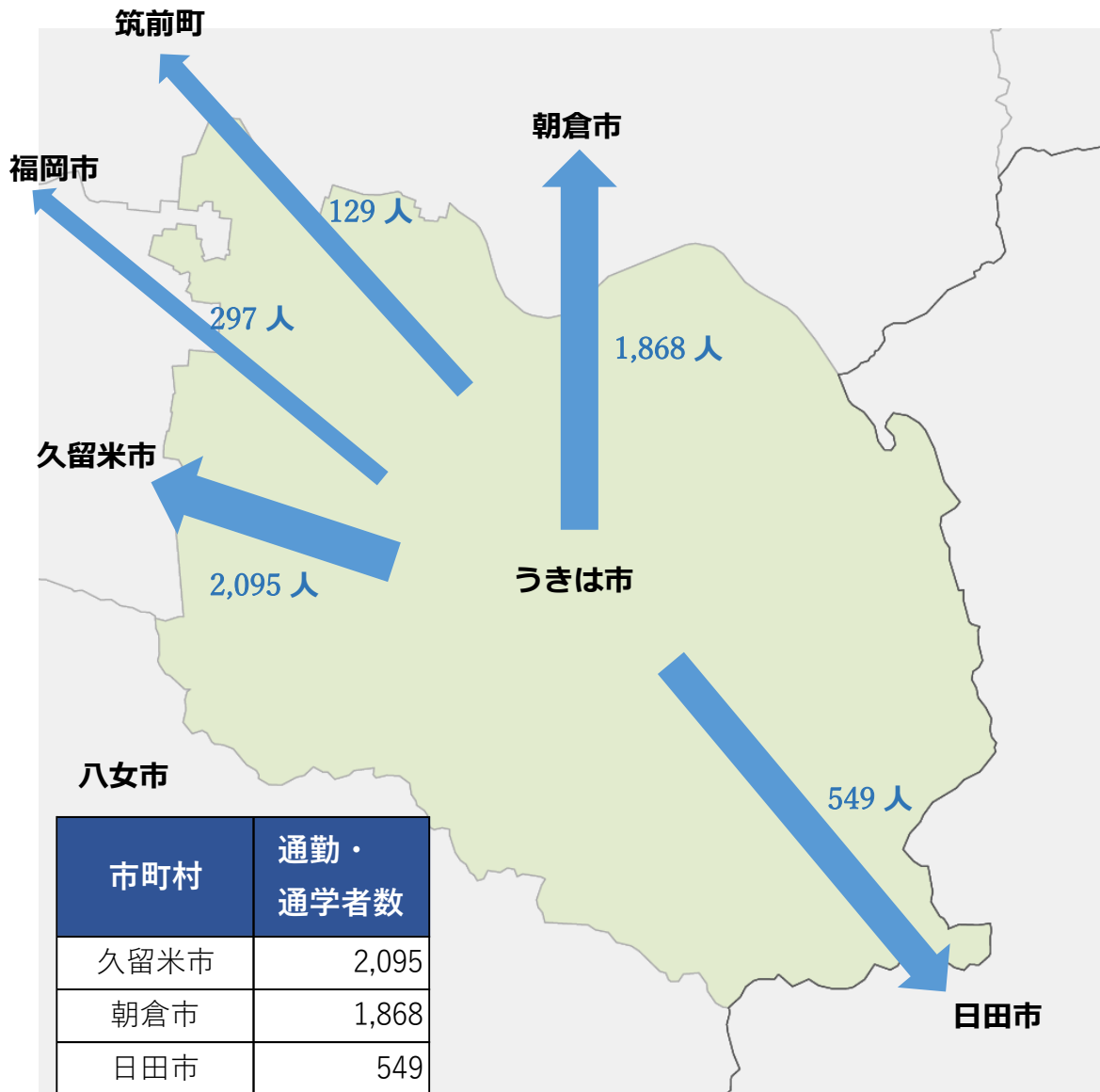


市町村	通勤・通学者数
久留米市	1,611
朝倉市	989
日田市	640
筑前町	111
小郡市	96
その他	537

(C) Map-It マップイット
(出典) 国勢調査

2020年における本市から他の自治体への通勤・通学者の状況を見ると、久留米市への通勤・通学者が2,095人と最も多くなっており、次いで朝倉市が1,868人、日田市が549人、福岡市が297人と多くなっている。

図表 うきは市からの通勤・通学者数（2020年）



(C) Map-It マップイット
(出典) 国勢調査

2 上位・関連計画の整理

本市の基本的なまちづくりの基本理念と市の将来像を示し、実現に向けた施策の基本方針と大綱を定めた上位計画である「第2次うきは市総合計画」や「第2期うきは市ルネッサンス戦略」等の各種関連計画を整理する。

(1) 上位計画：第2次うきは市総合計画

期 間：令和3年度～令和7年度

将 来 像：うきはブランドを絆で結ぶ しあわせ彩る うきは市

～好きですうきは これまでも そして、これからも～

基本目標1：将来のうきは市を担う人を育み、大切にしています

基本目標2：活力にあふれ、まち全体がにぎわっています

基本目標3：誰もが生き生きと安心して健康に暮らしています

基本目標4：安全で安心なまちで、すみよさを実感しています

要 点：基本目標4を達成するための施策として、民間事業者の活用を図り、地域にあった公共交通体制を整えることを掲げている。

(2) 関連計画：第2期うきは市ルネッサンス戦略（第2期地方版総合戦略）

期 間：令和3年度～令和7年度

基本方針1：うきはの資源活用と新たな雇用の創出

基本方針2：地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み

基本方針3：結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市

基本方針4：時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携

要 点：基本方針2に基づく取組みとして、ITやAIを活用した輸送を効率化するサービスの実装に向けた取組みや観光者の輸送実証試験を掲げている。

(3) その他の関連計画

その他の関連計画として、ゾーニングによる効果的な土地利用、管理を目指す「うきは市管理構想（素案）」や自動車のCO₂排出量の削減を施策に掲げている「うきは市ゼロカーボンビジョン」、観光振興に向けた取組みとして二次交通整備や新たな公共交通の導入を掲げている「うきは市観光振興計画」等がある。

3 公共交通の現状

(1) うきはバス

事業主体を本市、運行主体を(有)朝田タクシーとした自家用有償旅客運送により、うきはバスを運行している。

旧浮羽町を中心に運行する浮羽線と旧吉井町を中心に運行する吉井線の2路線があり、本市の中心部を巡回することで本市内での重要な移動手段となっている。両路線ともに1日4便（右まわり、左まわり2便ずつ）が運行している。

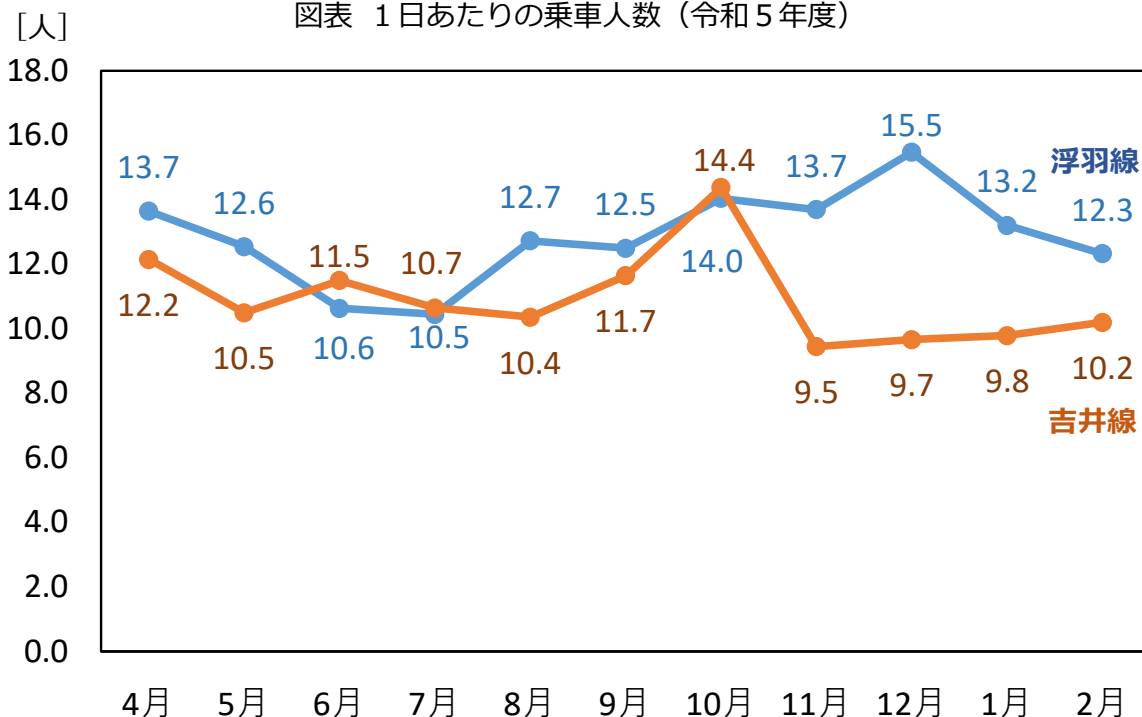
利用状況としては、浮羽線、吉井線ともに同程度利用されており、1日あたりの乗車人数は少ない月で10人弱、多い月で20人弱となっている。

図表 うきはバスの運行経路



(C) Map-It マップイット

図表 1日あたりの乗車人数（令和5年度）



(2) 予約制乗合タクシー

事業主体を本市、運行主体を(有)朝田タクシーとし、予約制乗合タクシーを運行している。本路線は路線バスの廃線時に代替の公共交通として導入されたものである。

小塩地区と妹川地区の2路線が運行しており、両路線とも1日7便(上り4便、下り3便)※の運行となっている。

各月ごとの、運行日における1日あたり及び1便あたりの乗車人数は以下のとおりである。

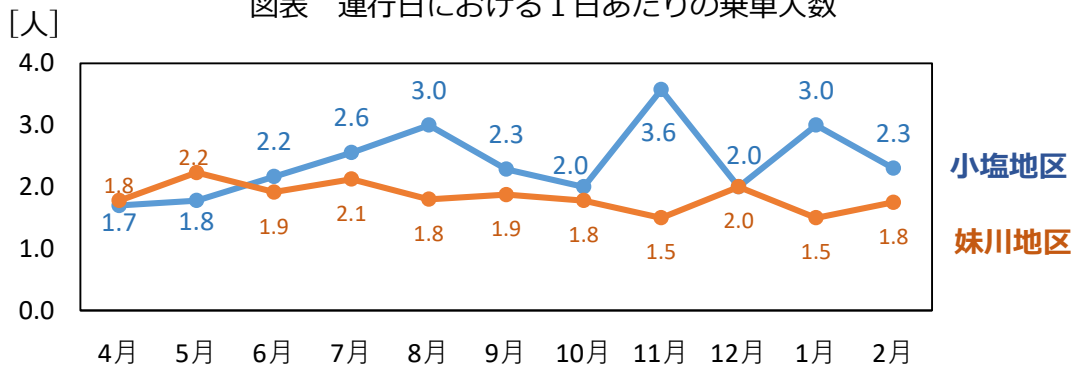
※予約時のみ運行

図表 予約制乗合タクシーの運行経路

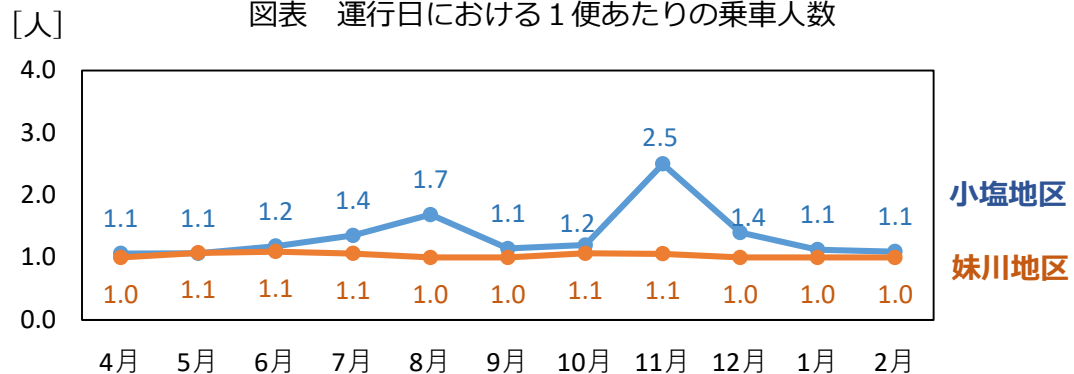


(C) Map-It マップイット

図表 運行日における1日あたりの乗車人数



図表 運行日における1便あたりの乗車人数



(3) JR久大線

本市の平野部をJR久大線が東西に横断しており、市内には筑後吉井駅、うきは駅、筑後大石駅の3つのJR駅がある。本路線は西側では久留米市へ、東側では大分県日田市、玖珠町、九重町、由布市等を経由して大分市へ通じており、広域の地域間幹線系統として機能している。

図表 JR久大本線の運行経路



(4) 西鉄バス

本市では西鉄バス久留米(株)により路線バスが運行されている。「久留米～吉井線」と「神杉野線」の2路線があり、「久留米～吉井線」は久留米市へ、「神杉野線」は朝倉市及び大分県日田市へ通じている。

「久留米～吉井線」について、うきは発着所を発着地とする便は平日の通勤・通学の時間帯で1時間あたり2便程度(上り、下りそれぞれ、以下同様)、その他の時間は1時間に1便程度が運行している。

吉井営業所を発着地とする便がより高い頻度で運行しているものの、うきは市内で通過するエリアは限られている。

「神杉野線」については、平日で2時間に1便程度の運行頻度となっており、1日で6～7便が運行している。

図表 西鉄バスの運行経路

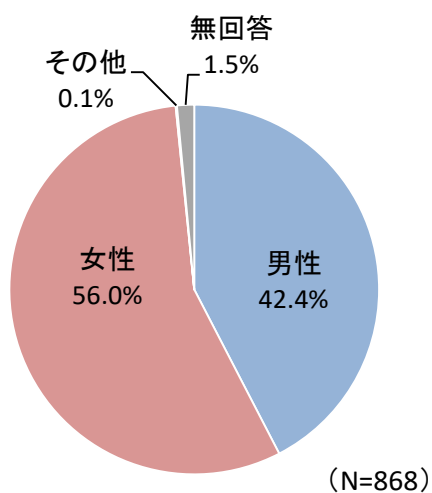


2 調査結果

(1) 回答者の属性

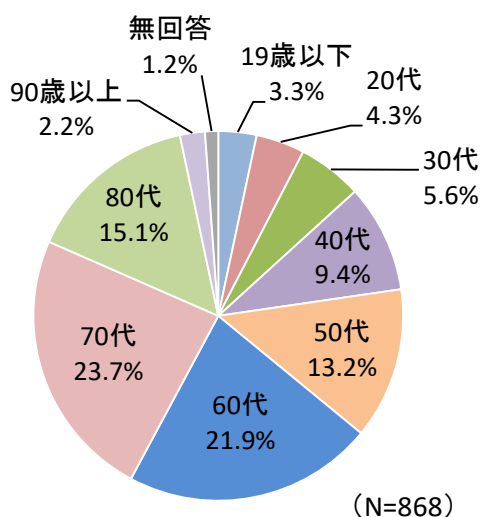
① 性別

回答者の性別は、「男性」が42.4%、「女性」が56.0%となっている。



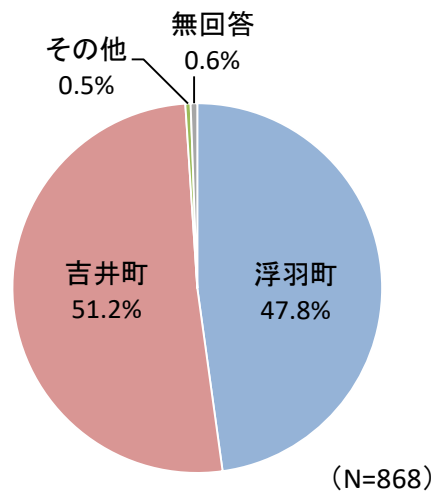
② 年代

回答者の年代は、「70代」が23.7%と最も多く、次いで「60代」が21.9%、「80代」が15.1%の順となっている。「60代」以上が5割を超えている。



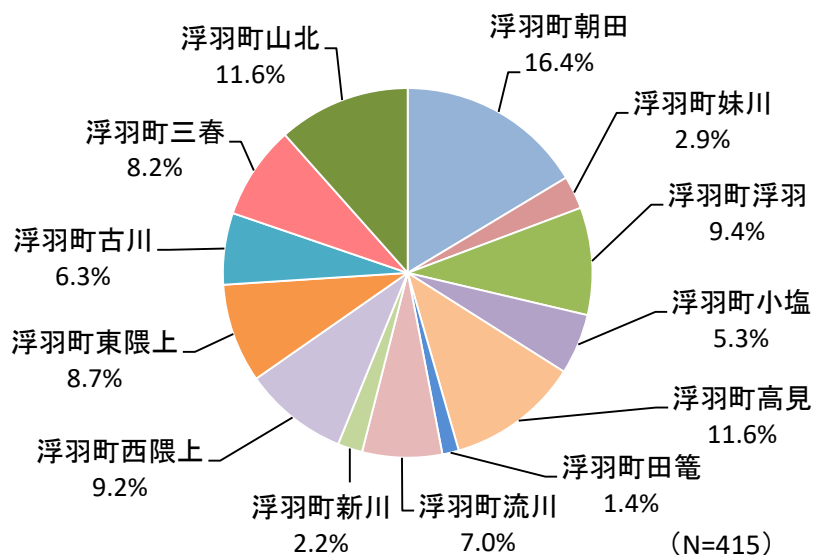
③ 居住地

回答者の居住地は、「浮羽町」が 47.8%、「吉井町」が 51.2%、「その他」が 0.5%となっている。



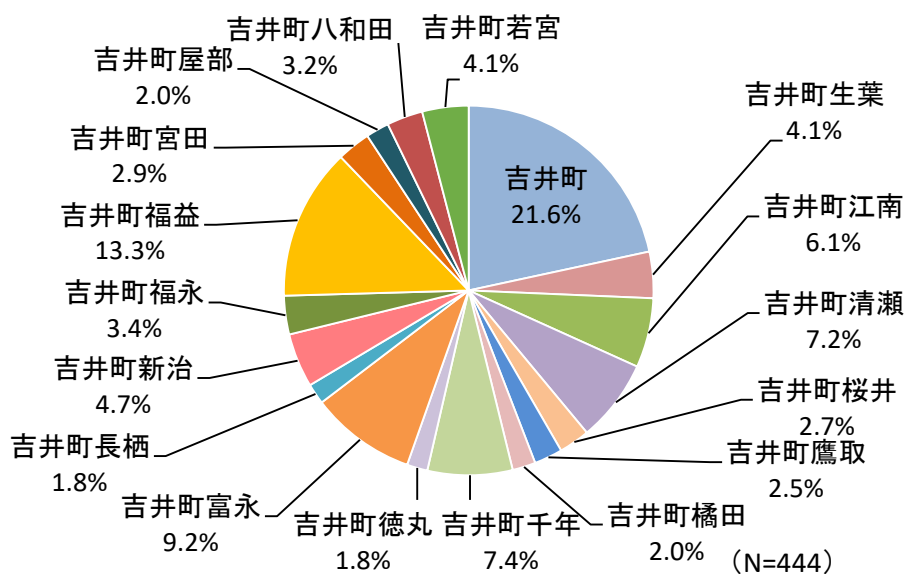
③-2 居住地の詳細（浮羽町）

③で「浮羽町」と回答した人について、居住地の詳細は以下のとおりとなっている。



③-3 居住地の詳細（吉井町）

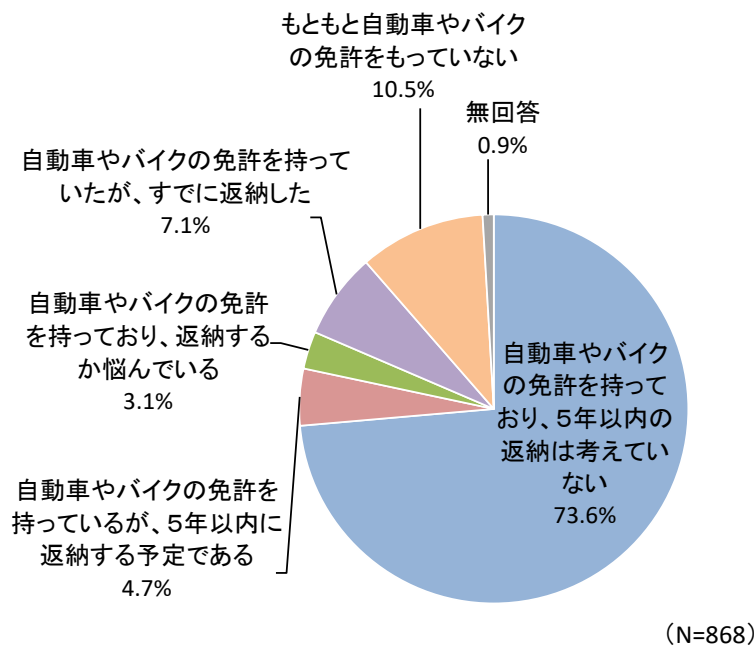
③で「吉井町」と回答した人について、居住地の詳細は以下のとおりとなっている。



④ 運転免許証について

「自転車やバイクの免許を持っており、5年以内の返納は考えていない」という回答が73.6%と最も多く、次いで「もともと自動車やバイクの免許を持っていない」が10.5%と多くなっている。

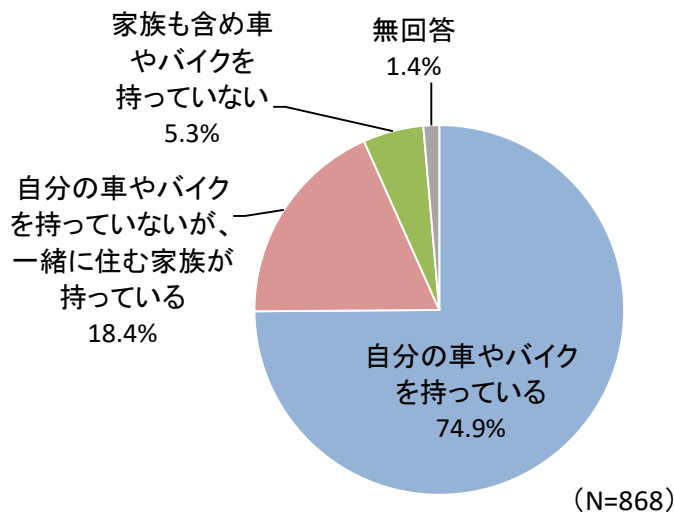
【設問】運転免許証について、当てはまるものを選んでください。



⑤ 車について

「自分の車やバイクを持っている」という回答が74.9%と多くなっている。

【設問】車について、当てはまるものを選んでください。

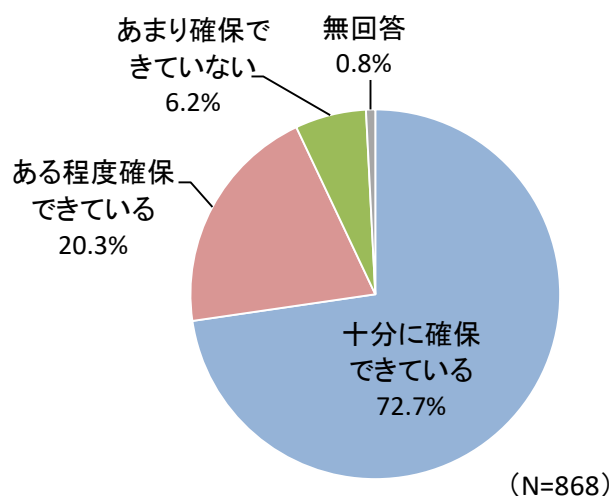


(2) 利用実態

① 外出時の移動手段の確保

外出時の移動手段の確保について、「十分に確保できている」という回答が72.7%と最も多く、次いで「ある程度確保できている」が20.3%と多くなっている。

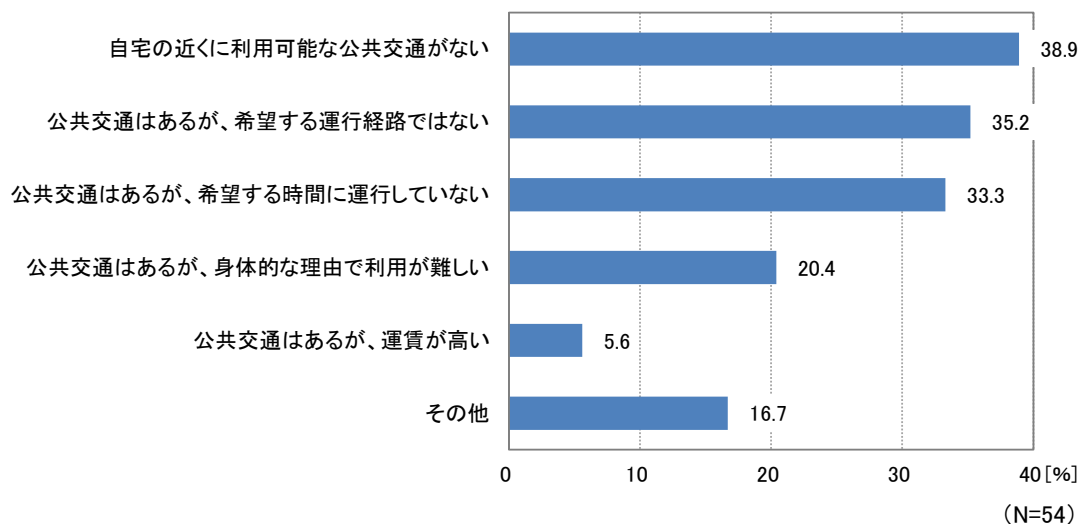
【設問】 外出時の移動手段は確保できていますか。



①-2 外出時の移動手段が確保できていない理由（複数回答）

外出時の移動手段が確保できていない理由について、「自宅の近くに利用可能な公共交通がない」が38.9%と最も多く、次いで「公共交通はあるが、希望する運行経路ではない」が35.2%と多くなっている。

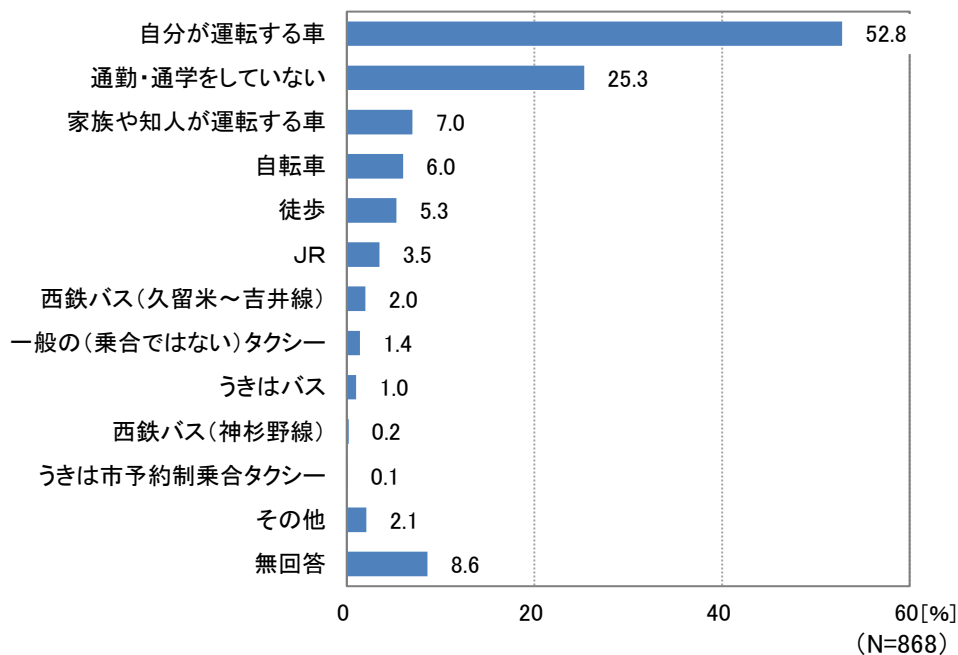
【設問】 外出時の移動手段が確保できていない理由を選んでください。



② 通勤・通学の際に最もよく利用する移動手段について（複数回答）

通勤・通学の際に最もよく利用する移動手段について、「自分が運転する車」が52.8%と最も多く、次いで「通勤・通学をしていない」が25.3%、「家族や知人が運転する車」が7.0%と多くなっている。

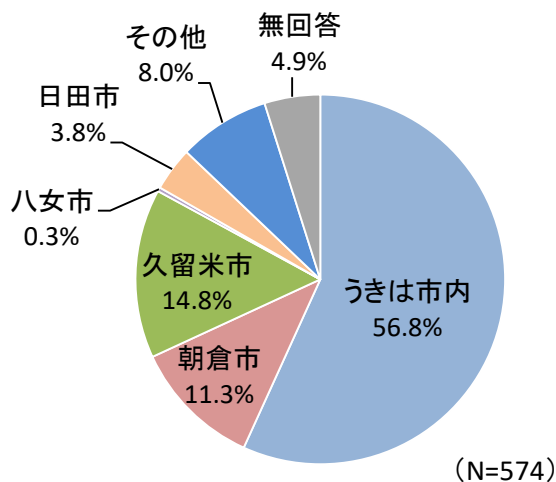
【設問】通勤・通学の際に最もよく利用する移動手段を選んでください。



③ 通勤・通学の際の主な行先

通勤・通学の際の主な行先について、「うきは市内」が56.8%と最も多く、次いで「久留米市」が14.8%、「朝倉市」が11.3%と多くなっている。

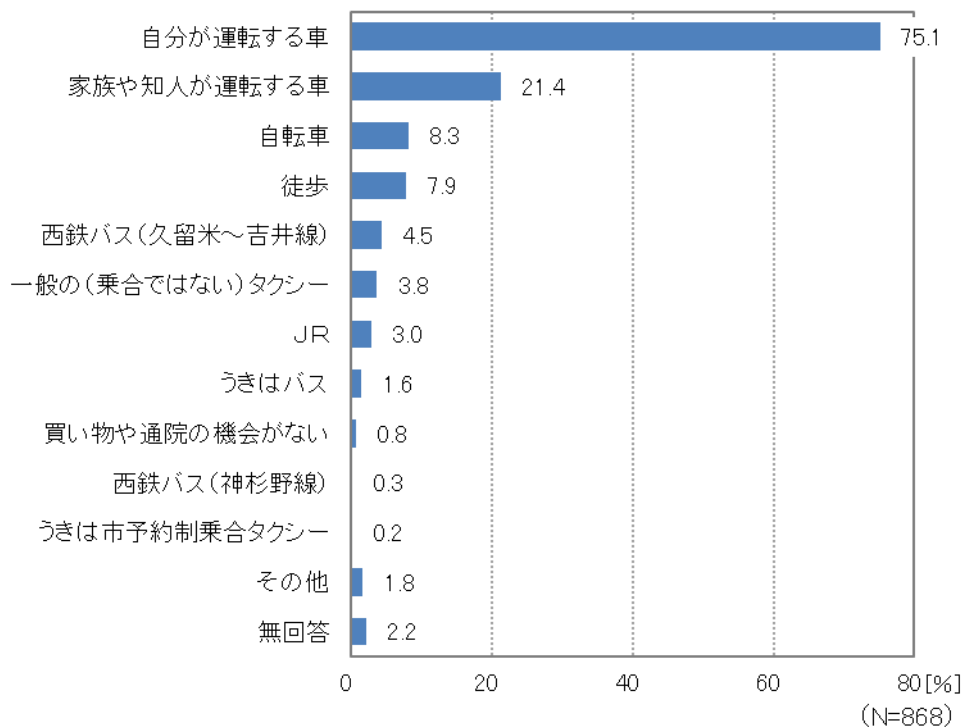
【設問】通勤・通学の際の主な行先を選んでください。



④ 買い物や通院の際に最もよく利用する移動手段について（複数回答）

買い物や通院の際に最もよく利用する移動手段について、「自分が運転する車」が75.1%と最も多く、次いで「家族や知人が運転する車」が21.4%、「自転車」が8.3%と多くなっている。

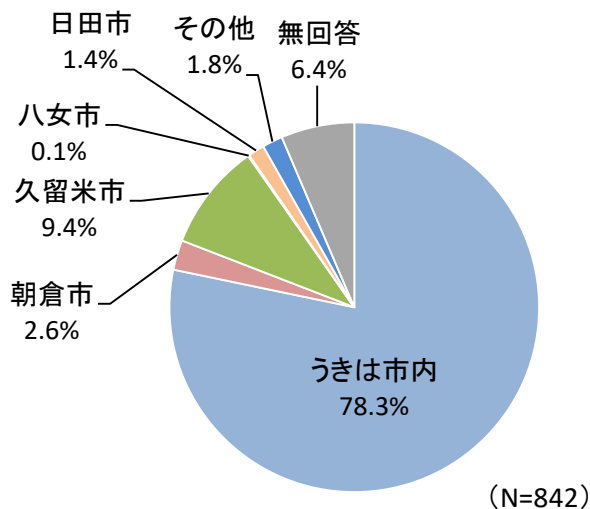
【設問】 買い物や通院の際に最もよく利用する移動手段を選んでください。



⑤ 買い物や通院の際の主な行先

買い物や通院の際の主な行先について、「うきは市内」が78.3%と最も多く、次いで「久留米市」が9.4%、「朝倉市」が2.6%と多くなっている。

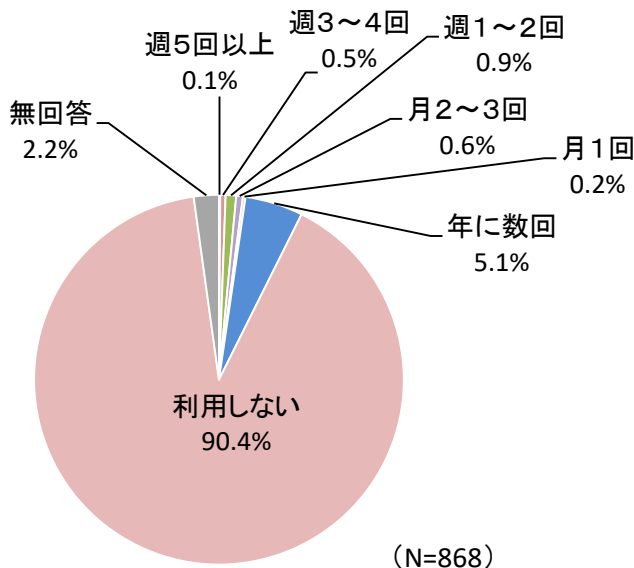
【設問】 買い物や通院の際の主な行先を選んでください。



⑥ うきはバスの利用頻度

うきはバスの利用頻度について、「利用しない」が90.4%と最も多く、次いで「年に数回」が5.1%、「週1～2回」が0.9%となっている。

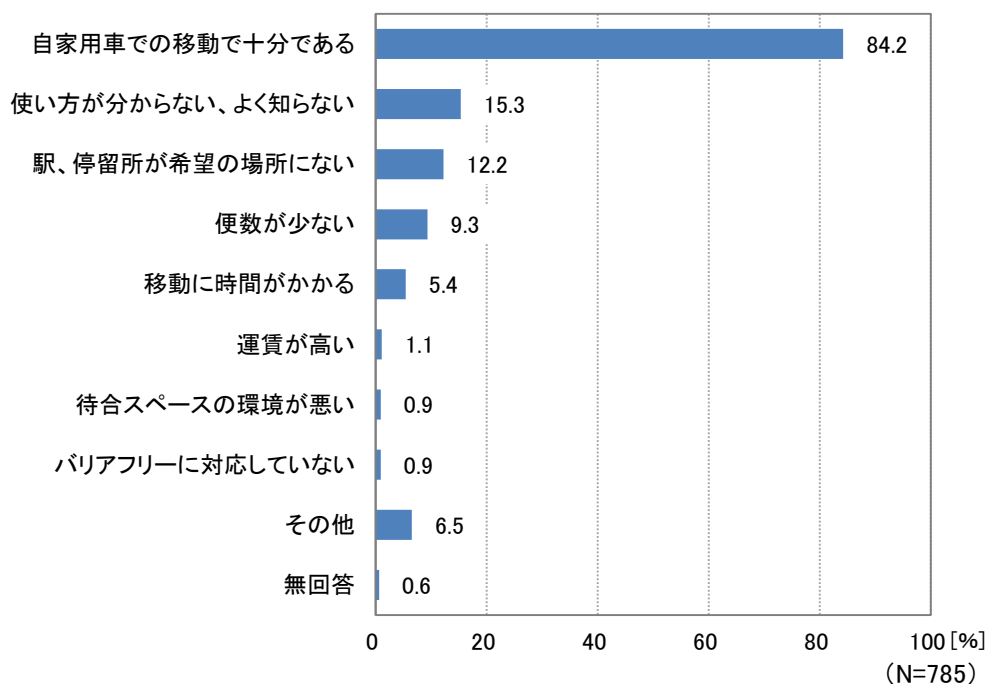
【設問】 うきはバスの利用頻度を選んでください。



⑥-2 「利用しない」理由（複数回答）

うきはバスを利用しない理由について、「自家用車の移動で十分である」が84.2%と最も多く、次いで「使い方がわからない、よく知らない」が15.3%、「駅、停留所が希望の場所がない」が12.2%と多くなっている。

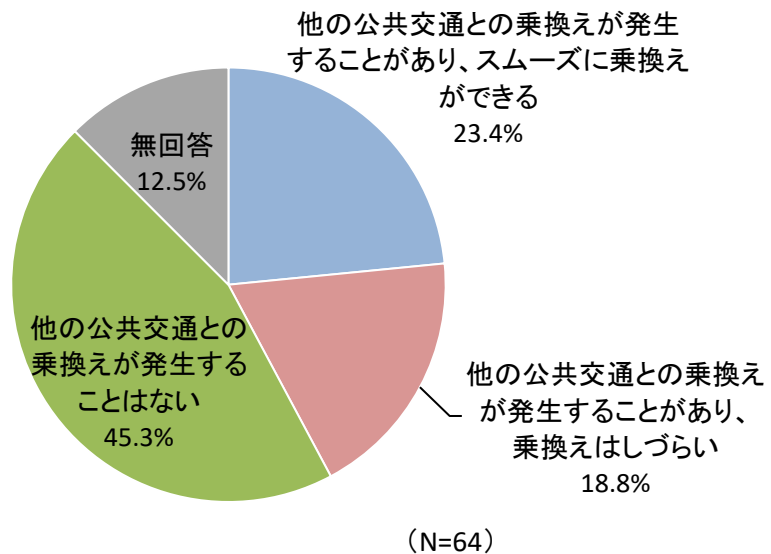
【設問】 うきはバスを利用しない理由を選んでください。



⑦ うきはバスからの乗換え利用の有無

うきはバスから他の公共交通への乗換えについて、「他の公共交通との乗換えが発生することはない」が 45.3%と最も多く、次いで「他の公共交通との乗換えが発生することがあり、スムーズに乗換えができる」が 23.4%となっている。

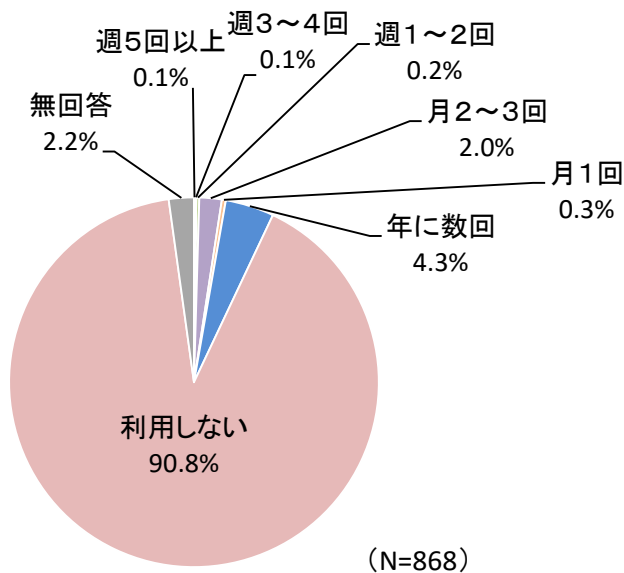
【設問】 うきはバスを利用する際に乗換えて利用することはありますか。



⑧ うきは市内における乗合タクシーの利用頻度

うきは市内における乗合タクシーの利用頻度について、「利用しない」が90.8%と最も多く、次いで「年に数回」が4.3%、「月2～3回」が2.0%となっている。

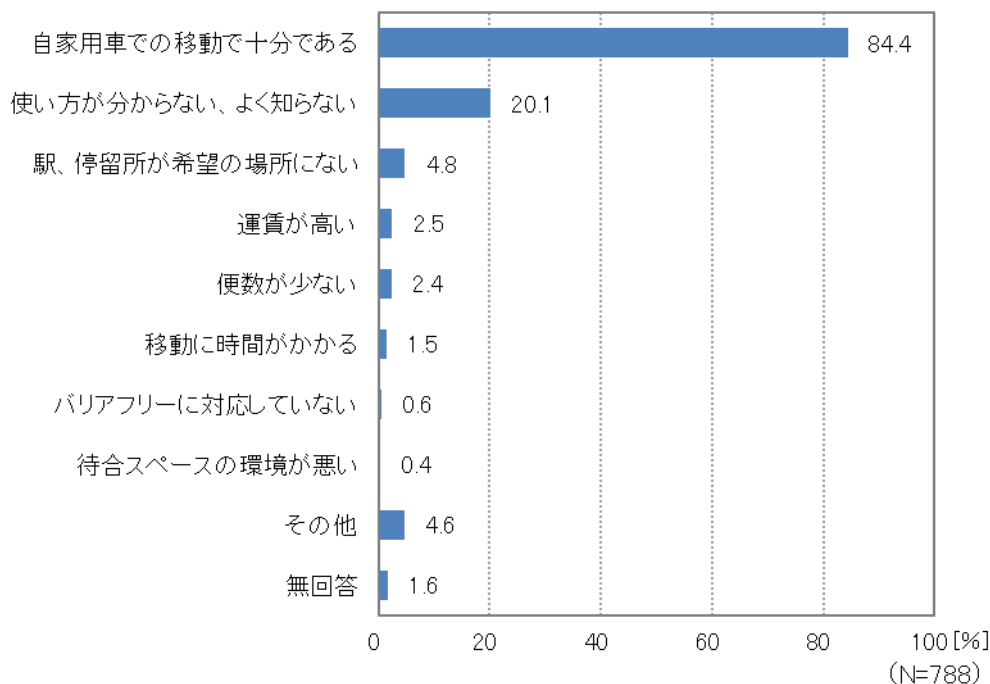
【設問】 うきは市内における乗合タクシーの利用頻度を選んでください。



⑧-2 「利用しない」理由（複数回答）

乗合タクシーを利用しない理由について、「自家用車の移動で十分である」が84.4%と最も多く、次いで「使い方がわからない、よく知らない」が20.1%、「駅、停留所が希望の場所がない」が4.8%と多くなっている。

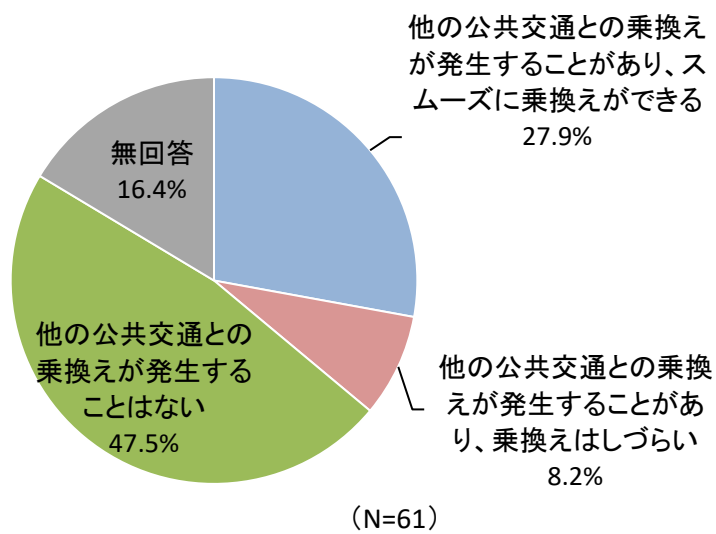
【設問】 乗合タクシーを利用しない理由を選んでください。



⑨ 乗合タクシーからの乗換え利用の有無

乗合タクシーから他の公共交通への乗換えについて、「他の公共交通との乗換えが発生することはない」が47.5%と最も多く、次いで「他の公共交通との乗換えが発生することがあり、スムーズに乗換えができる」が27.9%となっている。

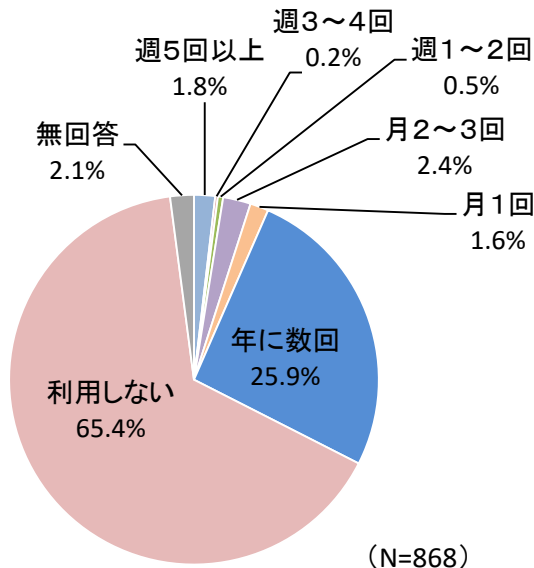
【設問】 乗合タクシーを利用する際に乗換えて利用することはありますか。



⑩ うきは市内におけるJRの利用頻度

うきは市内におけるJRの利用頻度について、「利用しない」が65.4%と最も多く、次いで「年に数回」が25.9%、「月2～3回」が2.4%となっている。

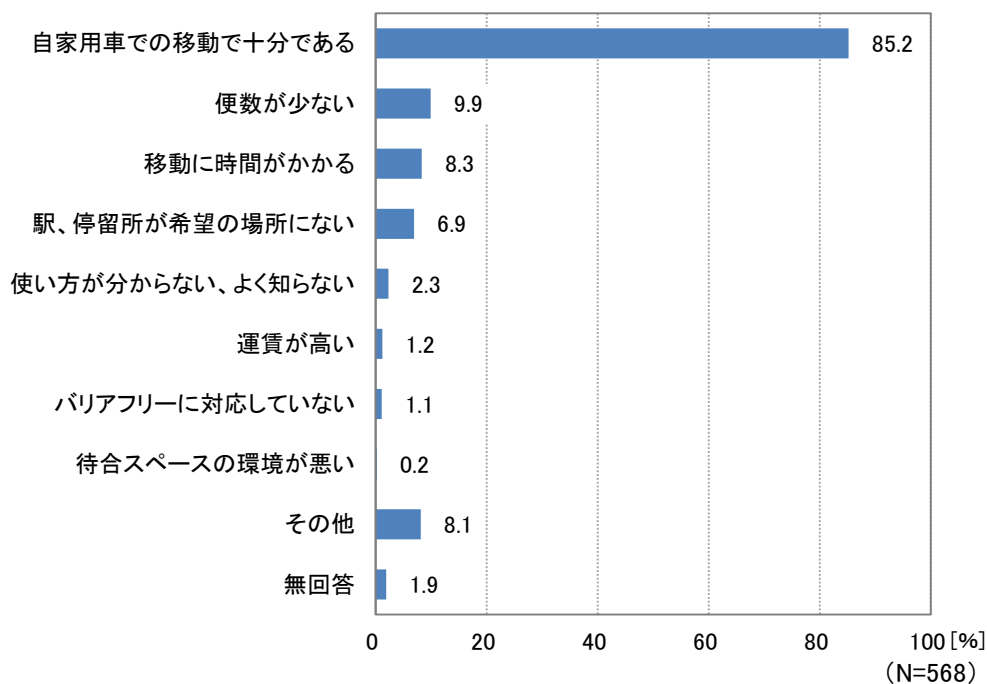
【設問】 うきは市内におけるJRの利用頻度を選んでください。



⑩-2 「利用しない」理由（複数回答）

JRを利用しない理由について、「自家用車の移動で十分である」が85.2%と最も多く、次いで「便数が少ない」が9.9%、「移動に時間がかかる」が8.3%と多くなっている。

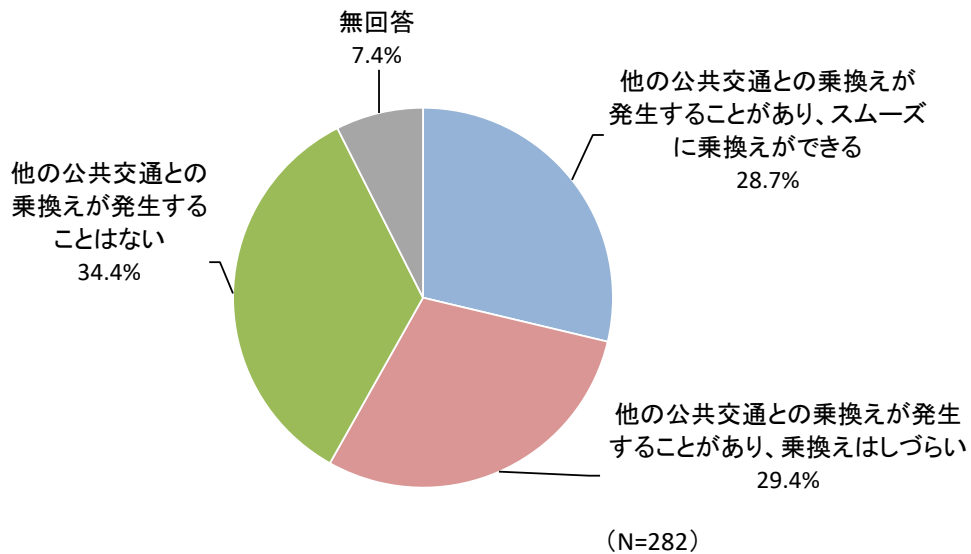
【設問】 JRを利用しない理由を選んでください。



⑪ JRからの乗換え利用の有無

JRから他の公共交通への乗換えについて、「他の公共交通との乗換えが発生することはない」が34.4%と最も多く、次いで「他の公共交通との乗換えが発生することがあり、乗換えはしづらい」が29.4%となっている。

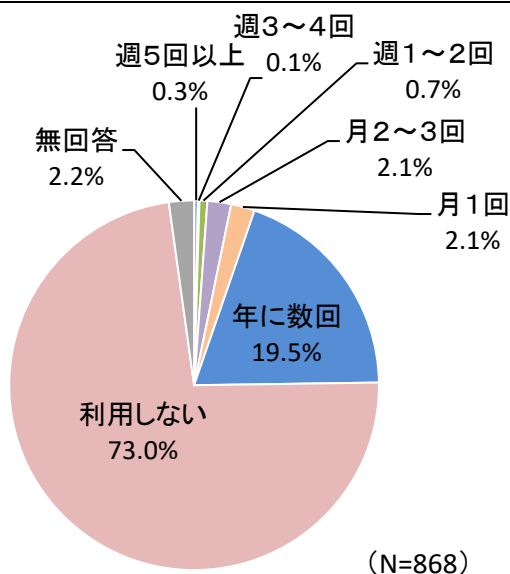
【設問】 JRを利用する際に乗換えて利用することはありますか。



⑫ うきは市内における西鉄バス（久留米～吉井線）の利用頻度

西鉄バス（久留米～吉井線）の利用頻度について、「利用しない」が73.0%と最も多く、次いで「年に数回」が19.5%、「月2～3回」及び「月1回」が2.1%となっている。

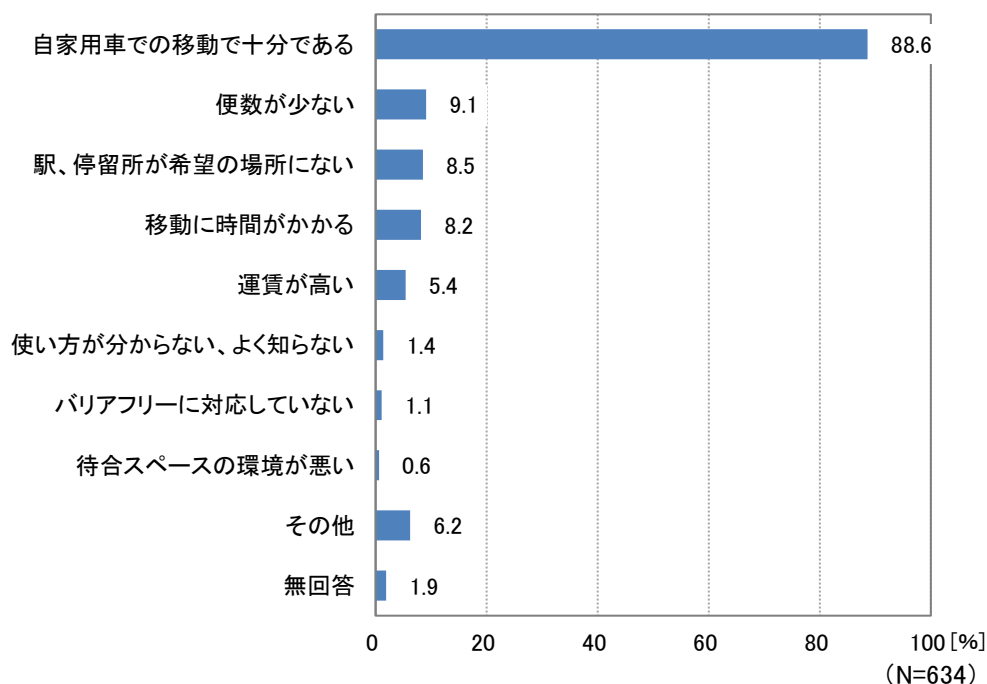
【設問】うきは市内における西鉄バス（久留米～吉井線）の利用頻度を選んでください。



⑫-2 「利用しない」理由（複数回答）

西鉄バス（久留米～吉井線）を利用しない理由について、「自家用車の移動で十分である」が88.6%と最も多く、次いで「便数が少ない」が9.1%、「駅、停留所が希望の場所がない」が8.5%と多くなっている。

【設問】西鉄バス（久留米～吉井線）を利用しない理由を選んでください。

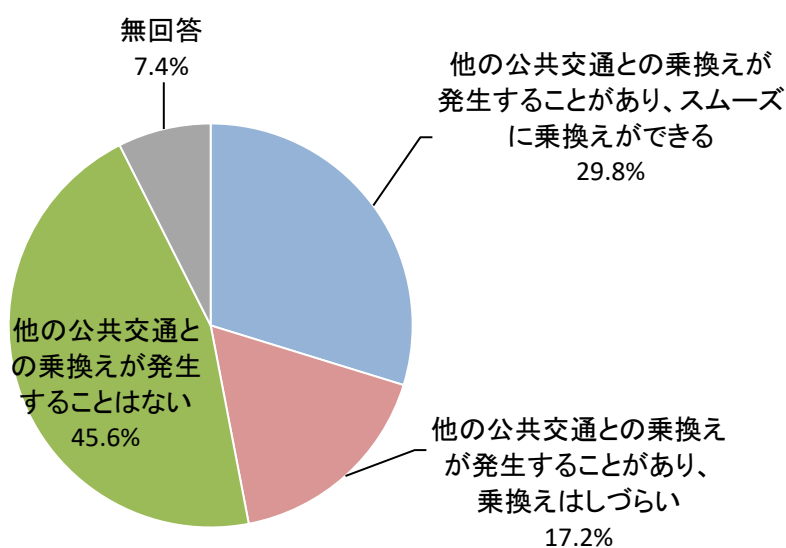


⑬ 西鉄バス（久留米～吉井線）からの乗換え利用の有無

西鉄バス（久留米～吉井線）から他の公共交通への乗換えについて、「他の公共交通との乗換えが発生することはない」が45.6%と最も多く、次いで「他の公共交通との乗換えが発生することがあり、スムーズに乗換えができる」が29.8%となっている。

【設問】西鉄バス（久留米～吉井線）を利用する際に

乗換えて利用することはありますか。

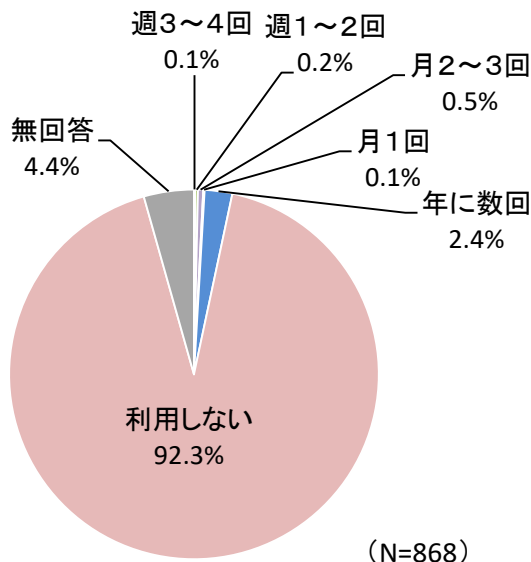


(N=215)

⑭ うきは市内における西鉄バス（神杉野線）の利用頻度

西鉄バス（神杉野線）の利用頻度について、「利用しない」が92.3%と最も多く、次いで「年に数回」が2.4%、「月2～3回」が0.5%となっている。

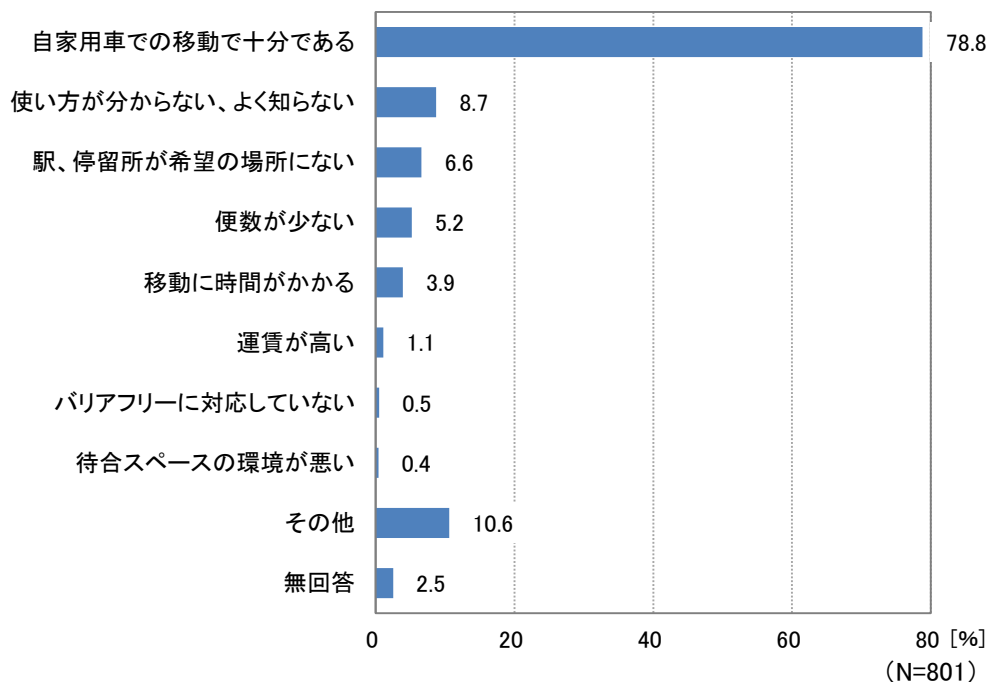
【設問】 うきは市内における西鉄バス（神杉野線）の利用頻度を選んでください。



⑭-2 「利用しない」理由（複数回答）

西鉄バス（神杉野線）を利用しない理由について、「自家用車の移動で十分である」が78.8%と最も多く、次いで「使い方が分からない、よく知らない」が8.7%、「駅、停留所が希望の場所がない」が6.6%と多くなっている。

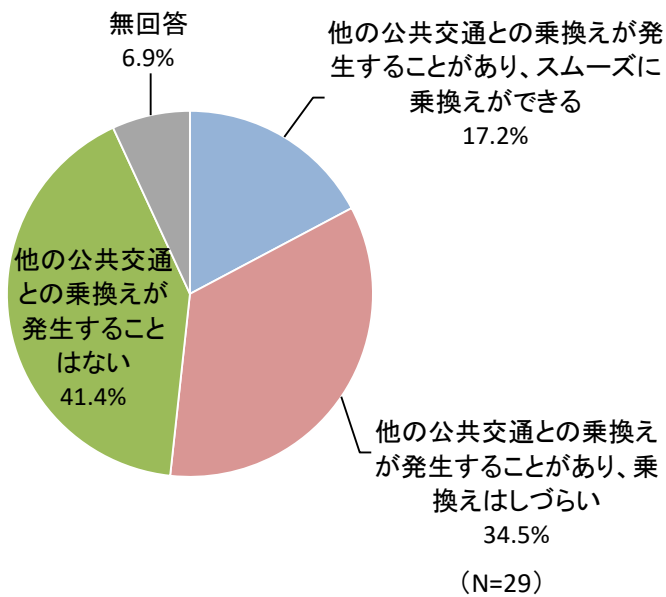
【設問】 西鉄バス（神杉野線）を利用しない理由を選んでください。



⑮ 西鉄バス（神杉野線）からの乗換え利用の有無

西鉄バス（神杉野線）から他の公共交通への乗換えについて、「他の公共交通との乗換えが発生することはない」が 41.4%と最も多く、次いで「他の公共交通との乗換えが発生することがあり、スムーズに乗換えができる」が 34.5%となっている。

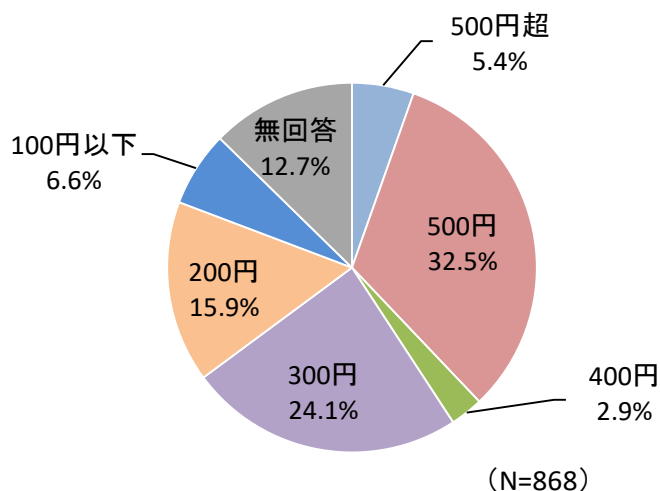
【設問】西鉄バス（神杉野線）を利用する際に乗換えて利用することはありますか。



(3) 市民ニーズ

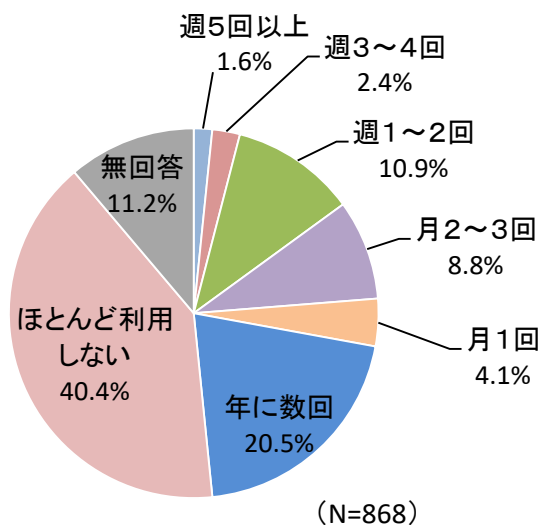
- ① AI オンデマンドタクシーのように、希望した時間・場所へ送迎してもらえるサービス（他の利用者と乗り合わせる可能性があります）が導入された場合、1回あたりの運賃は何円程度が適切だと考えるか。

AI オンデマンドタクシーの適切な運賃について、「500円」が32.5%と最も多く、次いで「300円」が24.1%、「200円」が15.9%と多くなっている。



- ② AI オンデマンドタクシー（1回あたりの運賃は100円～500円程度）が導入された場合、どの程度利用するか。

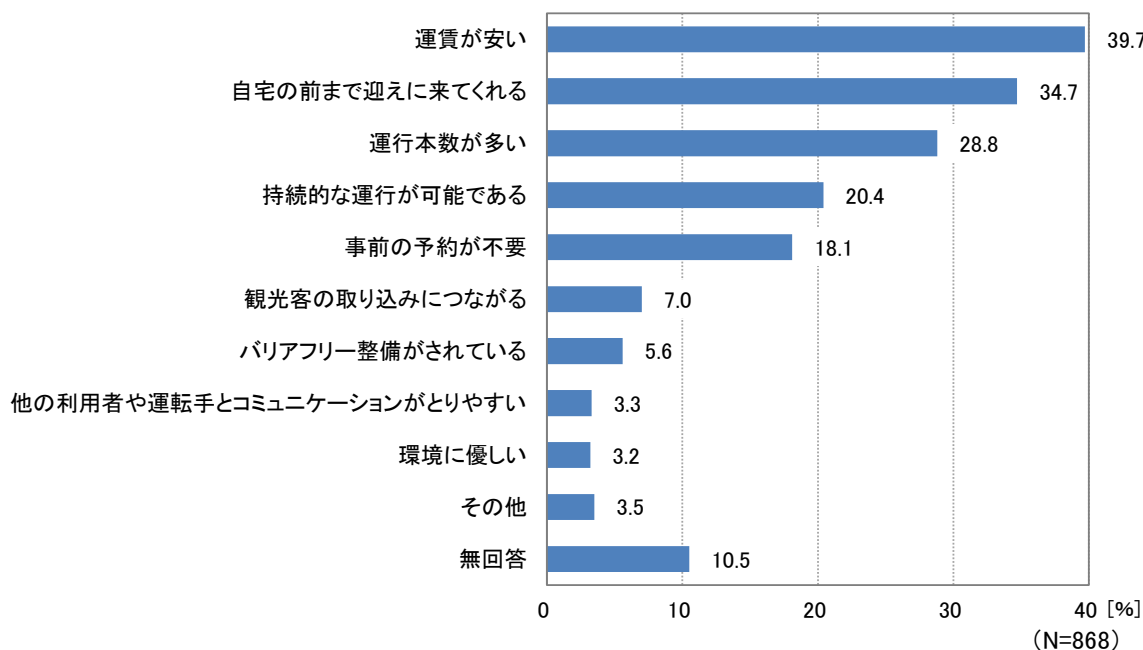
AI オンデマンドタクシーの想定される利用頻度について、「ほとんど利用しない」が40.4%と最も多く、次いで「年に数回」が20.5%、「週1～2回」が10.9%と多くなっている。



③ どのような特徴の公共交通がうきは市に導入されれば良いと考えるか。

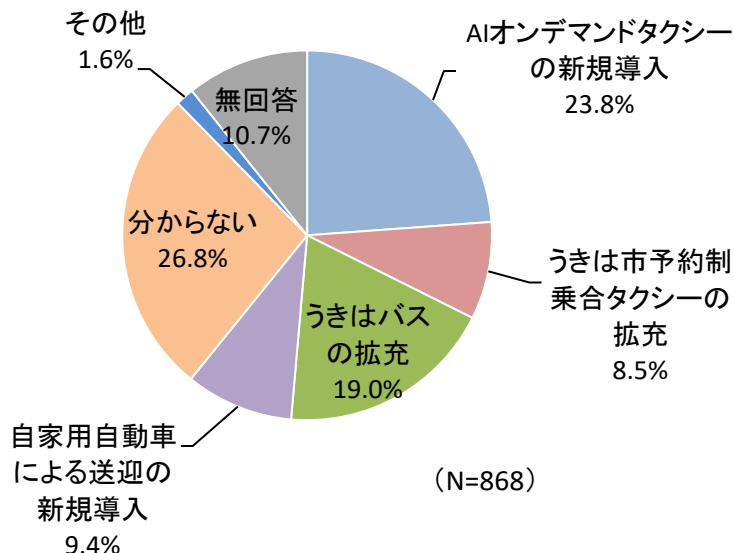
(複数回答)

導入されると良い公共交通について、「運賃が安い」が39.7%と最も多く、次いで「自宅の前まで迎えに来てくれる」が34.7%、「運行本数が多い」が28.8%と多くなっている。



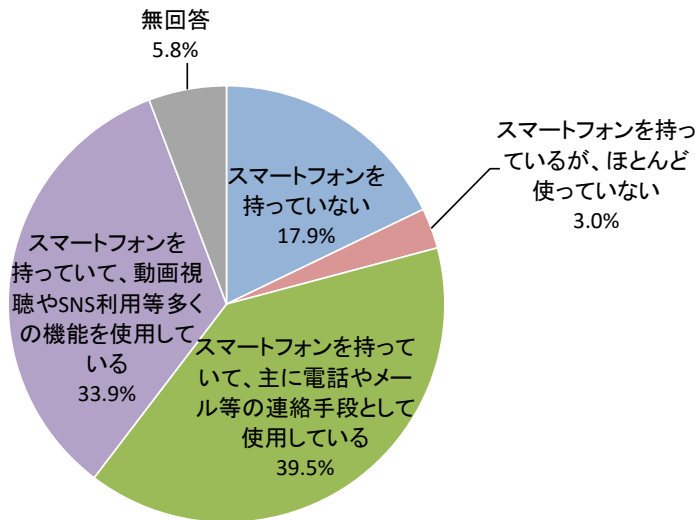
④ うきは市の公共交通について、どのように整備をすれば良いと考えるか。

取り組むべき公共交通の整備について、「分からない」が26.8%と最も多く、次いで「AI オンデマンドタクシーの新規導入」が23.8%、「うきはバスの拡充」が19.0%と多くなっている。



⑤ スマートフォンの所有や利用状況について

スマートフォンの所有や利用状況について、「スマートフォンを持っていて、主に電話やメール等の連絡手段として使用している」が 39.5%と最も多く、次いで「スマートフォンを持っていて、動画視聴や SNS 利用等多くの機能を使用している」が 33.9%と多くなっている。



(N=868)

⑥ 自由記述

「移動」について困っていることや「ものを運ぶこと」について困っていること、公共交通のサービスや移動に関する希望やお困りごとについての自由記述は以下の件数が寄せられた。

普段の暮らしのなかで、「移動」について困っていること

回答数：276件

普段の暮らしのなかで、「ものを運ぶこと」について困っていること

回答数：182件

公共交通のサービス、移動に関する希望やお困りごとなど

回答数：283件

自由記述意見【一部抜粋】※

※自由記述一覧は別添資料を参考

年代	居住地域		意見
60代	浮羽町 山北	-	人口減に伴って、どんどん公共交通サービスがなくなっていく。これが原因（不便）でますます人口が減り、町がなくなるのでは？日田彦山線のBRT方式とかいいなと思う。
60代	-	吉井町 福益	JR、西鉄バスの夜遅い便を増やしてほしい。夜9時以降がない。
70代	-	吉井町	運転代行業者が減少し、タクシーもすぐ来ない。
19歳 以下	-	吉井町	JRのうきは→久留米間の本数が減り、1時間に1本しかないこともあり、通勤・通学の不便さが際立つようになりました。なかなか難しいと思いますが、久留米と直通で行ける運賃が安い公共交通が増えてほしいです（西鉄のように各駅停車ではなく、早く着ける直通便があると嬉しい）。
70代	浮羽町 西隈上	-	西鉄バスの久留米→吉井までのバスが運行されていますが、うきは着にしてほしい。うきはから杷木までのバスの運行が少なすぎると思います。バスを小型にして、運行回数を増やしてほしい。高齢者が年々増加し、運転免許の返納が多くなってきますので、早目の検討をお願いします。うきは市西鉄バス（久留米～吉井線）の便数が少ない。移動に時間がかかる。

年代	居住地域	意見	
50代	浮羽町 山北	-	JR久大線は、通勤・通学時間帯に1両のみで運行され、超満員になり、年配の方や身体の不自由な方は使いづらいと思う。改善していただきたい。また、通勤・通学時間帯にもかかわらず、久留米発の便が吉井止まりで浮羽までの足がないことも（バスとの接続もない）改善していただきたい。久留米市内の駅と西鉄久留米駅周辺へのアクセスの利便性を高めてほしい。コロナ禍以降、高速バスも、通勤・通学時間帯の便が悪くなり、浮羽からの通勤事情は年々悪化し、住みづらくなっていると感じる。観光客が増えているが、レンタサイクルが不足しているようで、交通機関もないため暑い中、寒い中、ホテルから徒歩で教唆されているようなので、観光客にも便利な手段を提供した方がよいのではないかなと思う。
60代	浮羽町 朝田	-	福岡空港をよく利用します。空港へ行く時は杷木からの高速バスです。杷木のバス停まで行く手段がなく、家族や社員による送迎になります。西鉄杷木バス停まで行く安価な手段（タクシーは高い）を考えてほしい。
70代	浮羽町 西隈上	-	西鉄バスの久留米→吉井までのバスが運行されていますが、うきは着にしてほしい。うきはから杷木までのバスの運行が少なすぎると思います。バスを小型にして、運行回数を増やしてほしい。高齢者が年々増加し、運転免許の返納が多くなってきますので、早目の検討をお願いします。西鉄バス（久留米～吉井線）の便数が少ない。移動に時間がかかる。
30代	浮羽町 朝田	-	市外への高校に行く際の交通手段を充実してほしい。例えばうきはから杷木へのバスの本数が少なすぎて高校への選択肢も限られてくる。
30代	-	吉井町 富永	現行のうきはバスの利用率と、市が負う人件費などを総合的にみると、「事前予約制」の乗り合い（orA I）タクシーへのシフトチェンジも必要ではないか。私の住む地域は特に、うきはバスのコース外かつ、西鉄バス路線ではないため、同居の親（免許返納の80代）や近所の高齢者は何の恩恵もない。自家用車による送迎などのありがたい。まずは市民のための足を。次に観光客の取り込みに繋がる公共交通サービスを導入してほしい。例えば…土日祝限定での市民&観光客向け「1Day乗り放題パス」、「乗り放題チケット」、「1日フリーパス」など、市民も助かり、そして観光客もワクワクするような交通サービスの実現、期待しています。

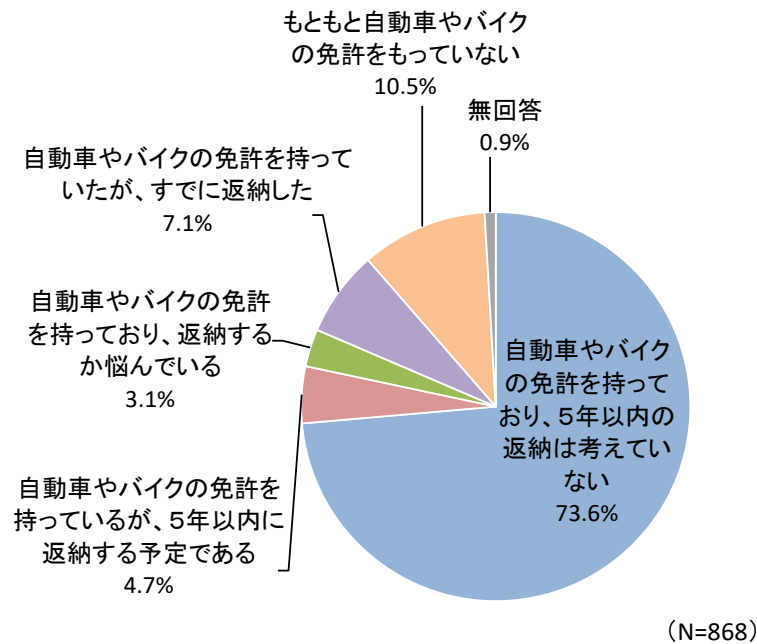
年代	居住地域		意見
80代	-	吉井町 橋田	朝倉みたいに集落に乗り合いバス（コミュニティバス）を通したら、みんな買い物や病院のために外出なのだから、スーパー、ドラッグストアなどへの路線を考えてもらえませんか。それでも外出のできない人がいます。そんな人にはもっと移動販売を充実させたらいかがでしょうか。一人暮らしの人の声をもっと聞いてほしい。
40代	-	吉井町	コミュニティバスを利用する場合、子供が図書館やうきはアリーナを利用したい場合吉井町からだと便数が少ない為利用がしにくいです。夏休みの学校でのプール開放等が無くなったため出来れば体を動かしに行つて欲しかったのですが、校区外であることと、運行時間等の間隔が合わなかったため、なかなか活用することができませんでした。また、料金も小学生と証明出来るものがなかったため、何か言われると怖いので大人料金を払って帰ってきたと言っていたこともあり、子供が利用するのはなかなか難しいのかなと思っています。
70代	-	吉井町 屋部	集落に公共交通が通っていない。利便性が悪く、将来運転できなくなることが不安。
60代	浮羽町 浮羽	-	今は60代（61歳）で当面、移動手段は自家用車で充分ですが、将来車の免許を返納した時に病院や買い物のことを考えると不安です。
50代	浮羽町 朝田	-	今はまだ健康で特に困っていないが、年齢を重ねたり、怪我や病気をした時の移動については不安を感じている。
60代	浮羽町 朝田	-	素敵な観光スポットで観光コースを設定して、できるだけ多く走らせること。タクシーの運転手さんの教育、観光のため、歴史・いわれ等案内してうきはの地名を広めてほしい。
40代	-	吉井町 若宮	福祉サービス等で移動支援のようなものを実施するところができるしてほしい
30代	-	吉井町 新治	うきはに新しくホテルができたが、そこまでの移動手段が少なく利用する人も少ないのではないかと考えている。市を盛り上げるためにはより交通機関の強化が必要だと思う。また、タクシーも今のままでは少なく予約が取りづらい。

年代	居住地域	意見
90 歳 以上	- 吉井町 鷹取	内科、眼科は江南一九の会にお世話になっております。大変助かっています、感謝。歯科、リハビリは送迎利用。買い物は毎週日曜日、娘が朝倉なので来て来ております。今のところ困ったことはありません。
90 歳 以上	- 吉井町 鷹取	病院に行くのに、娘が仕事をしているので江南一九の会にお世話になっております。もう少し高くしてもらっても良い。安くて気の毒な位感謝です。私は91歳、一人暮らしです。今のところ自分で食べる事、色々なことできております。一九の会の皆様によくしてもらっているので長く続くようお願いします。

1 調査結果のポイント整理

ポイント 01 3割弱の人が運転免許証を未保有、もしくは返納を検討していると回答している。

【再掲】運転免許証の保有について

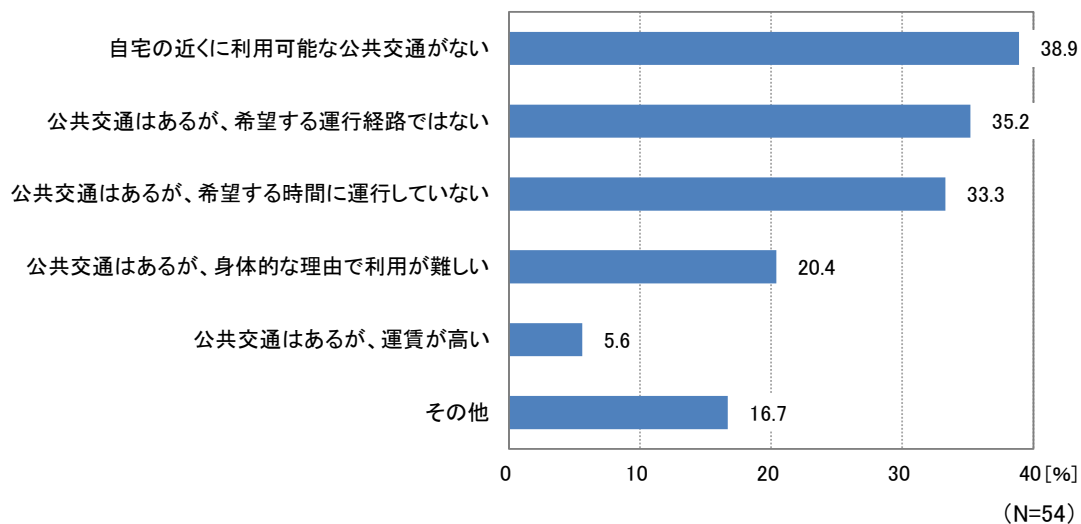


【再掲】免許返納後に関する自由記述意見の抜粋

年代	居住地域		意見
70代	-	吉井町 屋部	集落に公共交通が通っていない。利便性が悪く、将来運転できなくなることが不安。
60代	浮羽町 浮羽	-	今は60代(61歳)で当面、移動手段は自家用車で充分ですが、将来車の免許を返納した時に病院や買い物のことを考えると不安です。
50代	浮羽町 朝田	-	今はまだ健康で特に困っていないが、年齢を重ねたり、怪我や病気をした時の移動については不安を感じている。

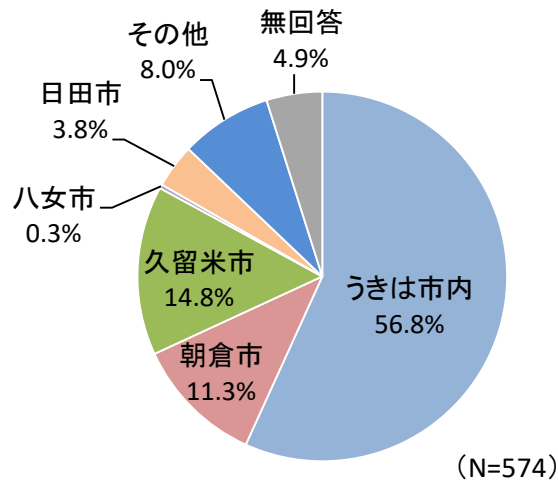
ポイント 02 外出時の移動手段があまり確保できていない理由として、「自宅の近くに利用可能な公共交通がない」が最も多く挙げられており、次いで「公共交通はあるが、希望する運行経路ではない」が挙げられている。

【再掲】外出時の移動手段が確保できていない理由

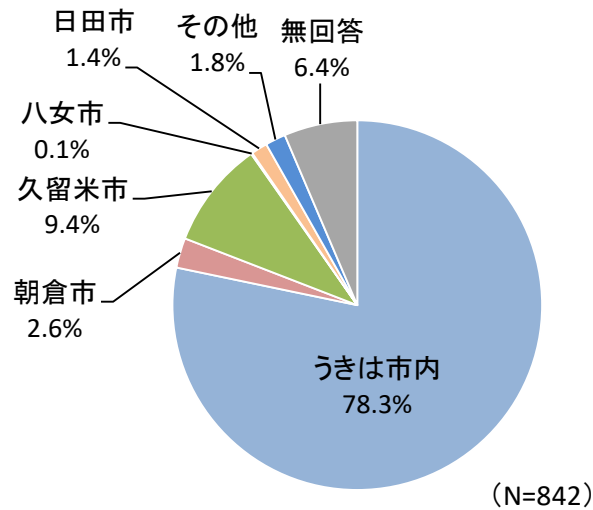


ポイント 03 4割以上の方が、うきは市外へ通勤・通学する一方、買い物や通院の主な行先は8割程度がうきは市内である。

【再掲】通勤・通学の際の主な行先



【再掲】買い物の際の主な行先



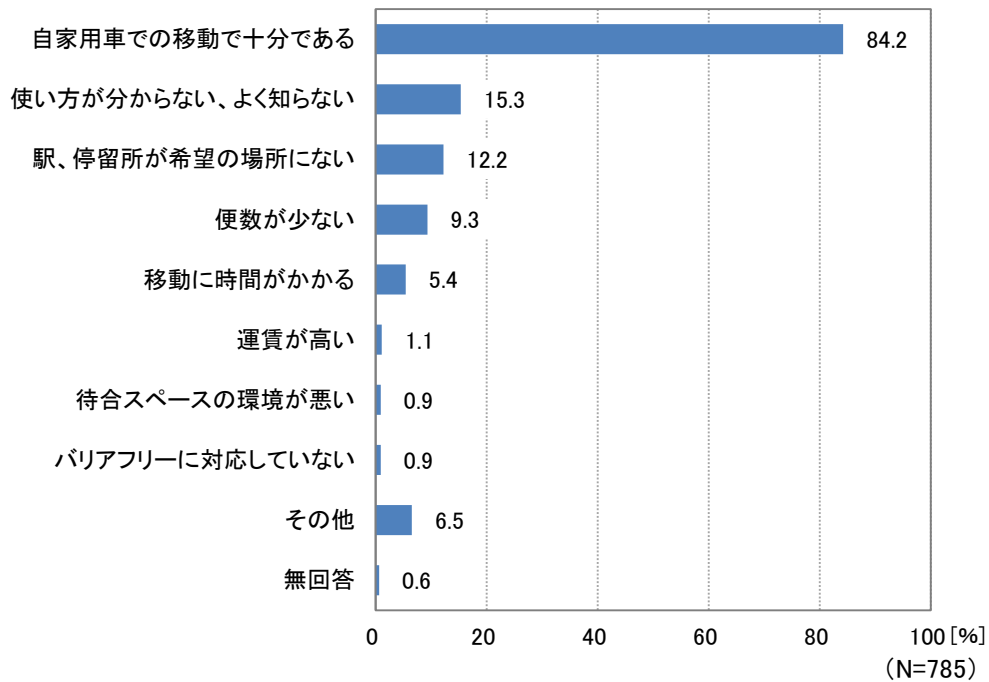
ポイント 04 人口減少による交通サービスの利便性低下が想定される。

【再掲】人口減少による交通サービスの利便性低下に関する自由記述意見の抜粋

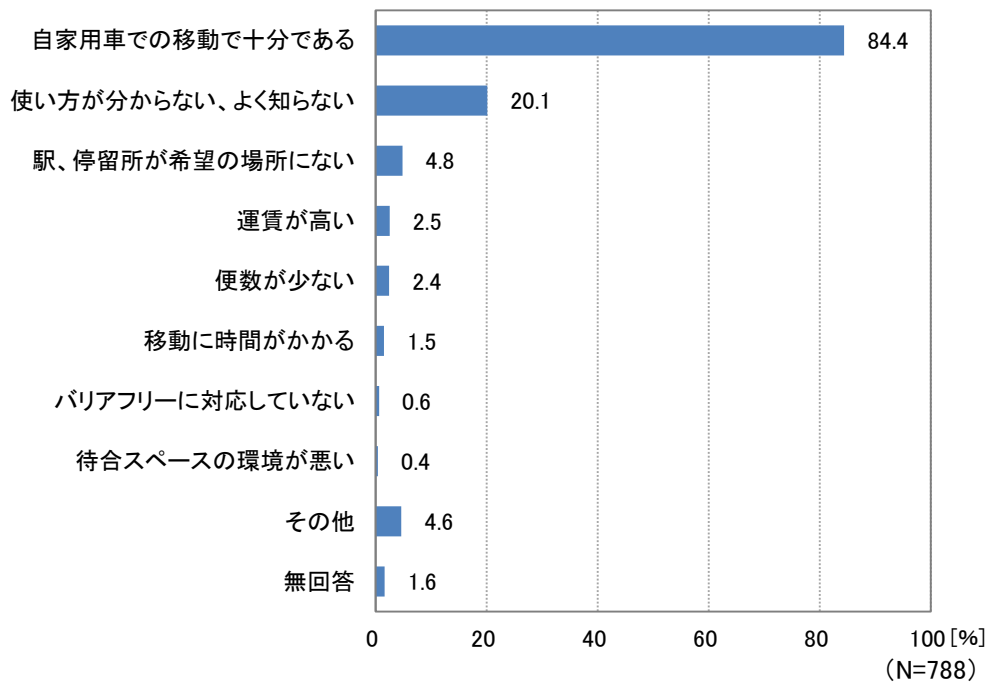
年代	居住地域		意見
60代	浮羽町 山北	-	人口減に伴って、どんどん公共交通サービスがなくなっていく。これが原因（不便）でますます人口が減り、町がなくなるのでは？日田彦山線のBRT方式とかいいなと思う。
60代	-	吉井町 福益	JR、西鉄バスの夜遅い便を増やしてほしい。夜9時以降がない。
70代	-	吉井町	運転代行業者が減少し、タクシーもすぐ来ない。

ポイント 05 うきはバス、乗合タクシーを利用しない理由として、「使い方が分からない、よく知らない」という回答が2番目に多く挙げられている。

【再掲】 うきはバスを利用しない理由

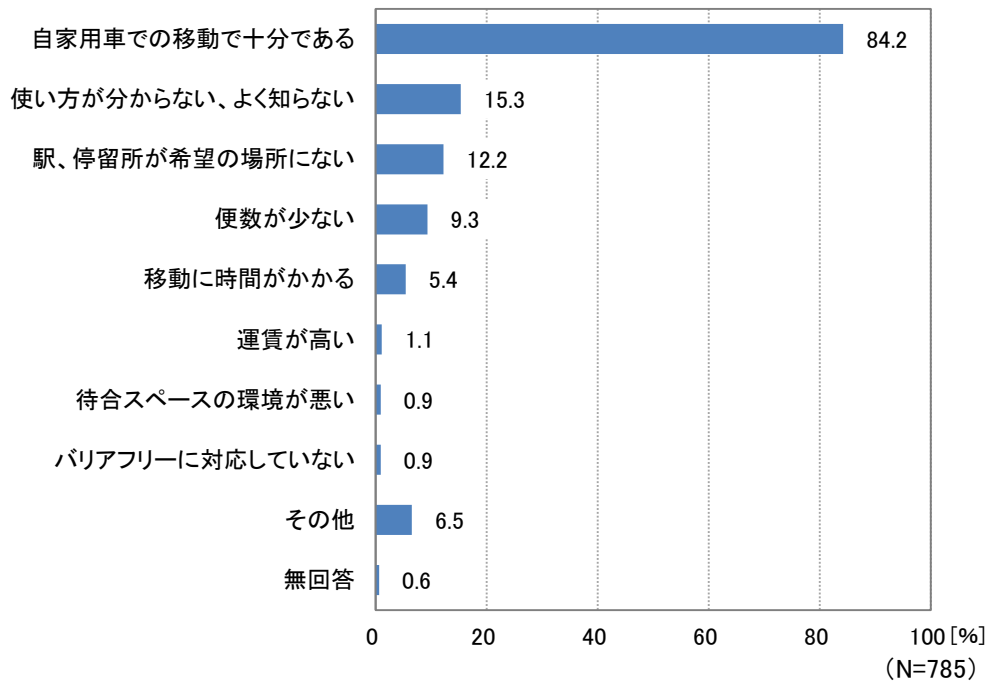


【再掲】 予約制乗合タクシーを利用しない理由

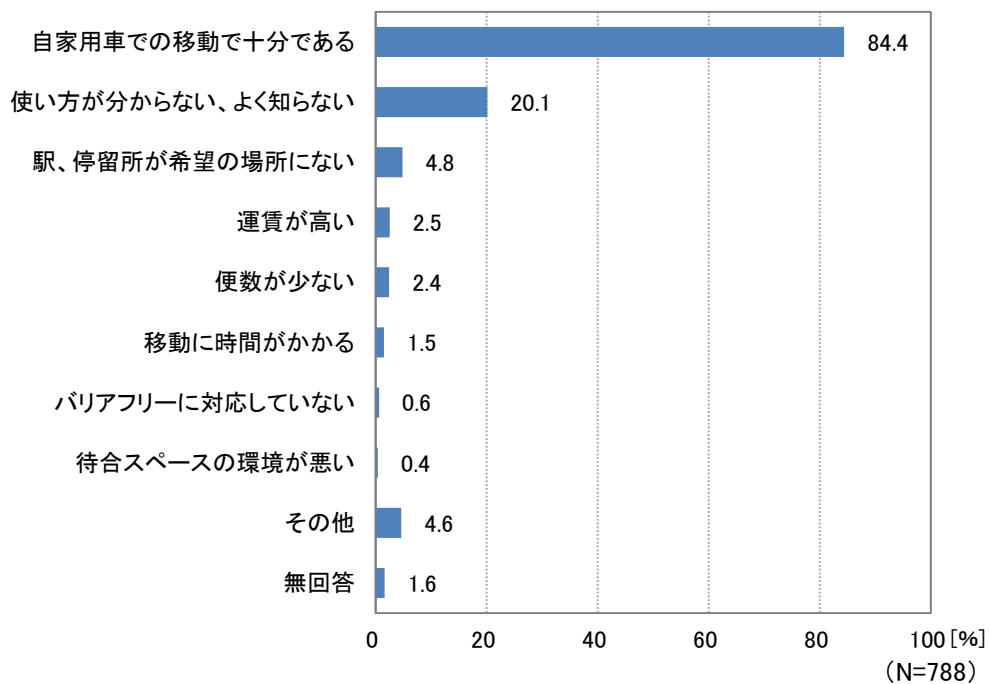


ポイント 06 うきはバス、乗合タクシーを利用しない理由として、「駅、停留所が希望の場所がない」という回答が3番目に多く挙げられている。

【再掲】 うきはバスを利用しない理由

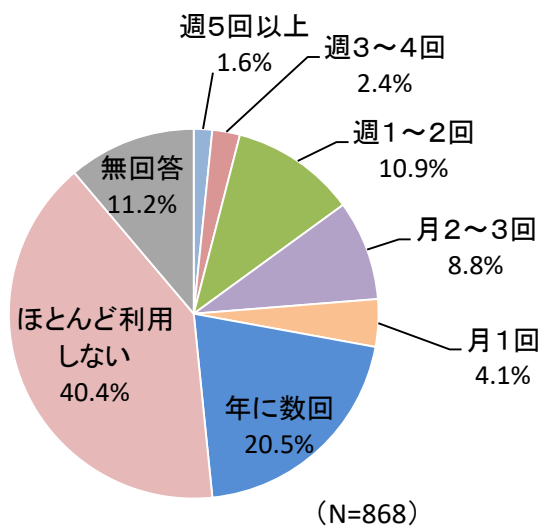


【再掲】 予約制乗合タクシーを利用しない理由



ポイント 07 AI オンデマンドタクシーが導入された場合に、約5割の人が利用すると回答している。

【再掲】 AI オンデマンドタクシーが導入された場合の利用意向



ポイント 08 近隣地域への移動に対する利便性向上を求める声が多く挙げられている。

【再掲】近隣地域への移動に対する利便性向上に関する自由記述意見の抜粋

年代	居住地域		意見
19歳以下	-	吉井町	JRのうきは→久留米間の本数が減り、1時間に1本しかないこともあり、通勤・通学の不便さが際立つようになりました。なかなか難しいと思いますが、久留米と直通で行ける運賃が安い公共交通が増えてほしいです（西鉄のように各駅停車ではなく、早く着ける直通便があると嬉しい）。
70代	浮羽町 西隈上	-	西鉄バスの久留米→吉井までのバスが運行されていますが、うきは着にしてほしい。うきはから杷木までのバスの運行が少なすぎると思います。バスを小型にして、運行回数を増やしてほしい。高齢者が年々増加し、運転免許の返納が多くなってきますので、早目の検討をお願いします。うきは市西鉄バス（久留米～吉井線）の便数が少ない。移動に時間がかかる。
50代	浮羽町 山北	-	JR久大線は、通勤・通学時間帯に1両のみで運行され、超満員になり、年配の方や身体の不自由な方は使いづらいと思う。改善していただきたい。また、通勤・通学時間帯にもかかわらず、久留米発の便が吉井止まりで浮羽までの足がないことも（バスとの接続もない）改善していただきたい。久留米市内の駅と西鉄久留米駅周辺へのアクセスの利便性を高めてほしい。コロナ禍以降、高速バスも、通勤・通学時間帯の便が悪くなり、浮羽からの通勤事情は年々悪化し、住みづらくなっていると感じる。観光客が増えているが、レンタサイクルが不足しているようで、交通機関もないため暑い中、寒い中、ホテルから徒歩で教索されているようなので、観光客にも便利な手段を提供した方がよいのではないかなと思う。
60代	浮羽町 朝田	-	福岡空港をよく利用します。空港へ行く時は杷木からの高速バスです。杷木のバス停まで行く手段がなく、家族や社員による送迎になります。西鉄杷木バス停まで行く安価な手段（タクシーは高い）を考えてほしい。

年代	居住地域	意見
70代	浮羽町 西隈上	- 西鉄バスの久留米→吉井までのバスが運行されていますが、うきは着にしてほしい。うきはから杷木までのバスの運行が少なすぎると思います。バスを小型にして、運行回数を増やしてほしい。高齢者が年々増加し、運転免許の返納が多くなってきますので、早目の検討をお願いします。西鉄バス（久留米～吉井線）の便数が少ない。移動に時間がかかる。
30代	浮羽町 朝田	- 市外への高校に行く際の交通手段を充実してほしい 例えばうきはから杷木へのバスの本数が少なすぎて高校への選択肢も限られてくる。

ポイント09 コミュニティバスの利便性向上を求める声が多く挙げられている。

【再掲】コミュニティバスの利便性向上に関する自由記述意見の抜粋

年代	居住地	意見
30代	- 吉井町 富永	現行のうきはバスの利用率と、市が負う人件費などを総合的にみると、「事前予約制」の乗り合い（orA I）タクシーへのシフトチェンジも必要ではないか。私の住む地域は特に、うきはバスのコース外かつ、西鉄バス路線ではないため、同居の親（免許返納の80代）や近所の高齢者は何の恩恵もない。自家用車による送迎などのありがたい。まずは市民のための足を。次に観光客の取り込みに繋がる公共交通サービスを導入してほしい。例えば…土日祝限定での市民&観光客向け「1Day乗り放題パス」、「乗り放題チケット」、「1日フリーパス」など、市民も助かり、そして観光客もワクワクするような交通サービスの実現、期待しています。
80代	- 吉井町 橋田	朝倉みたいに集落に乗り合いバス（コミュニティバス）を通したら、みんな買い物や病院のために外出なのだから、スーパー、ドラッグストアなどへの路線を考えてもらえませんか。それでも外出のできない人がいます。そんな人にはもっと移動販売を充実させたらいかがでしょうか。一人暮らしの人の声をもっと聞いてほしい。
40代	- 吉井町	コミュニティバスを利用する場合、子供が図書館やうきはアリーナを利用したい場合吉井町からだと便数が少ない為利用がしにくいです。夏休みの学校でのプール開放等が無くなったため出来れば体を動かさしに行きたくはありますが、校区外であることと、運行時間等の間隔が合わなかったため、なかなか活用することができませんでした。また、料金も小学生と証明出来るものがなかったため、何か言われると怖いので大人料金を払って帰ってきたと言っていたこともあり、子供が利用するのはなかなか難しいのかなと思っています。

ポイント 10 他業種との連携や、うきは市の発信を期待する声が挙げられている。

【再掲】他業種との連携や、うきは市の発信に関する自由記述意見の抜粋

年代	居住地域		意見
60代	浮羽町 朝田	-	素敵な観光スポットで観光コースを設定して、できるだけ多く走らせること。タクシーの運転手さんの教育、観光のため、歴史・いわれ等案内してうきはの地名を広めてほしい。
40代	-	吉井町 若宮	福祉サービス等で移動支援のようなものを実施するところができるしてほしい
30代	-	吉井町 新治	うきはに新しくホテルができたが、そこまでの移動手段が少なく利用する人も少ないのではないかと思っている。市を盛り上げるためにはより交通機関の強化が必要だと思う。また、タクシーも今のままでは少なく予約が取りづらい。

2 想定される公共交通の課題

調査結果のポイントより想定される、本市における公共交通の課題を整理する。

調査結果のポイント

- ポイント01 3割弱の人が運転免許証を未保有、もしくは返納を検討していると回答している。
- ポイント02 外出時の移動手段があまり確保できていない理由として、「自宅の近くに利用可能な公共交通がない」が最も多く挙げられており、次いで「公共交通はあるが、希望する運行経路ではない」が挙げられている。
- ポイント03 4割以上の方が、うきは市外へ通勤・通学する一方、買い物や通院の主な行先は8割程度がうきは市内である。
- ポイント04 人口減少による交通サービスの利便性低下が想定される。
- ポイント05 うきはバス、乗合タクシーを利用しない理由として、「使い方が分からない、よく知らない」という回答が2番目に多く挙げられている。
- ポイント06 うきはバスを利用しない理由として、「駅、停留所が希望の場所がない」という回答が3番目に多く挙げられている。
- ポイント07 AI オンデマンドタクシーが導入された場合に、約5割の人が利用すると回答している。
- ポイント08 近隣地域への移動に対する利便性向上を求める声が多く挙げられている。
- ポイント09 コミュニティバスの利便性向上を求める声が多く挙げられている。
- ポイント10 他業種との連携や、うきは市の発信を期待する声が挙げられている。

課題の整理

- 課題1 地域交通の確保・維持に向けた新たな公共交通および体制の導入検討が必要
- 課題2 公共交通を担う人材（プレイヤー）の確保・育成が必要
- 課題3 公共交通の運行経路や運行時間等の見直しによる利便性向上が必要
- 課題4 公共交通の認知度向上に向けた取組みが必要
- 課題5 観光地へのアクセス向上、また地域間の周遊性向上が必要
- 課題6 うきはの地域資源や特性（魅力）の効果的な活用が必要
- 課題7 他分野の施策を踏まえた公共交通の取組み推進が必要

本市における公共交通の課題解決のため、公共交通計画の策定を提案する。想定される公共交通計画の取組みの方向性は以下のとおりである。

1 想定される公共交通計画の取組みの方向性検討

第3章「2 想定される公共交通の課題」に基づき、公共交通計画の取組みの方向性を検討する。

課題の整理

課題1	地域交通の確保・維持に向けた新たな公共交通および体制の導入検討が必要
課題2	公共交通を担う人材（プレイヤー）の確保・育成が必要
課題3	公共交通の運行経路や運行時間等の見直しによる利便性向上が必要
課題4	公共交通の認知度向上に向けた取組みが必要
課題5	観光地へのアクセス向上、また地域間の周遊性向上が必要
課題6	うきはの地域資源や特性（魅力）の効果的な活用が必要
課題7	他分野の施策を踏まえた公共交通の取組み推進が必要



想定される公共交通の取組みの方向性

基本コンセプト 『3つの共創[※]』による地域公共交通の「リ・デザイン」

「官民共創」、「交通事業者間共創」、「他分野共創」の『3つの共創』の考え方に基づき交通施策に取り組む。多様な主体が協働することにより、業種横断的な人材活用による人手不足の課題解決や、貨客混載等の取組みによる業務の集約、効率化を図り、地域交通の持続可能性を確保する。

方向性Ⅰ 市民の暮らしにあった利便性の高い公共交通

官民の共創を軸に、市民の移動ニーズに合わせた公共交通の運行経路、運行ダイヤ見直しや近隣地域へのアクセス向上を行い、公共交通の利便性を向上させる。また、AI オンデマンドタクシー等の新たな公共交通および体制についても検討し、地域交通の確保・維持を目指す。

対応する課題：課題1、2、3、5、7

方向性Ⅱ 地域の未来を守る公共交通

事業者間の共創を軸に、モビリティマネジメントや環境への対応を行うことで公共交通の認知度を向上させ、公共交通の利用を通して地域の未来を守る。また働く場所として公共交通が選ばれることで、未来の公共交通を担う人材の安定確保を目指す。

対応する課題：課題1、2、4、6、7

方向性Ⅲ 他業種を含めた地域の関係者が協働する公共交通

他分野の共創を軸に、フルーツや温泉、町並み、スポーツチームといった魅力のみでなく、教育や医療・福祉といった地域にて交通に関わっている関係者を本市が有する資源として捉え協働し、単なる移動手段に留まらない、地域課題解決を解決する公共交通の構築を目指す。

対応する課題：課題1、2、5、6、7

※ 国土交通省が推進する地域交通の「リ・デザイン」において推奨される官民共創、交通事業者間共創、他分野共創の取組み

2 公共交通計画の推進による将来像の実現

3つの方向性に基づく公共交通の取組み推進により、本市の公共交通の課題を解決し、将来像の実現につなげる。

想定される公共交通の取組みの方向性

基本コンセプト 『3つの共創』による地域公共交通のリ・デザイン

方向性Ⅰ 市民の暮らしに合った利便性の高い公共交通

方向性Ⅱ 地域の未来を守る公共交通

方向性Ⅲ 他業種を含めた地域の関係者が協働する公共交通

想定される方向性に基づく取組みの推進

公共交通計画に基づく取組みの推進

将来像*

うきはブランドを絆で結ぶ しあわせ彩る うきは市
～好きですうきは これまでも そして、これからも～

※ 第2次うきは市総合計画〈後期基本計画〉より